

第3章 指標自体の点検

「明日の京都」では、基本目標の達成状況を測定するための指標（施策指標）について、これを固定したものとせず、常に改善・進化を図っていくこととしている。

また、指標のもとに設定した数値目標については、その達成状況や社会・経済情勢の変化等を踏まえつつ、より適切な目標設定となるよう、常に見直しを図っていくことが必要である。

本章では、こうした観点に立って、個々の指標及び数値目標について点検を行い、今後の適切な運用に資するものとする。

1 2013年版報告書において、数値目標を上回った指標

指標のうち、数値目標を上回った指標は109指標である。

これらの指標については、(ア)引き続き数値目標を上回れるよう取組を進める、(イ)目標設定の水準を上げる、(ウ)早期の目標達成を絶好の機会と捉え、新たに別の目標設定をする等の対応が考えられる。こうした視点に立って、個々の指標について、次年度以降の運営目標に反映させていくもの、次期中期計画における指標検討に反映するものに分けて対応することとする。

(個別指標については、「中期計画関連指標（数値目標）」備考2欄を参照のこと。)

《表-1》

分野	指標数	2013年版報告書		[参考]2012年版	
		実績値計測 指標数 ※	数値目標を 上回った 指標数	数値目標を 上回った指標数	
中期計画	府民安心の再構築	121	138	46	21
	地域共生の実現	38	32	6	3
	京都力の発揮	78	74	30	16
	小計	237	244	82	40
地域振興計画	山城地域振興計画	20	20	6	1
	南丹地域振興計画	18	22	6	1
	中丹地域振興計画	16	17	9	1
	丹後地域振興計画	16	16	6	3
	小計	70	75	27	6
合計	307	319	109	46	

※ 1つの指標について、複数の数値目標を掲げているものは、数値目標ごとにカウントしている。
 なお、2012年版報告書以降に実績値が把握できないもの、実績値は把握していても2012年度が基準年になっているもの等については、カウントしない。このことから、2013年版と2012年版では、実績値計測指標数が同じではないため、数値目標を上回った指標数の単純比較はできない。

2 2013年版報告書において、数値目標に反して、実績が基準値より後退した指標

指標のうち、実績が基準値より後退した結果、数値目標に対する進捗率がマイナスとなったのは、24指標である。

これらの指標については、まずは、現行の施策・事業の実施方法等について見直し等が必要であるが、指標によっては、(ア)引き続き数値目標を上回れるよう取組を進める、(イ)目標設定の水準を下げる(但し、この場合には、当初の目標設定の考え方に対する十分な総括が必要)、(ウ)現状を踏まえた上で、施策の効果を計測することのできる代替指標及び数値目標を検討する等の対応が考えられる。こうした観点に立って、個々の指標について、次年度以降の運営目標等に反映させていくもの、次期中期計画における指標検討に反映するものに分けて対応することとする。

(個別指標については、「中期計画関連指標(数値目標)」備考2欄を参照のこと。)

《表-2》

分野	指標数	2013年版報告書		[参考]2012年版	
		実績値計測指標数	基準値より後退した指標数※	基準値より後退した指標数	
中期計画	府民安心の再構築	121	138	11	13
	地域共生の実現	38	32	3	1
	京都力の発揮	78	74	5	10
	小計	237	244	19	24
地域振興計画	山城地域振興計画	20	20	2	2
	南丹地域振興計画	18	22	1	1
	中丹地域振興計画	16	17	0	2
	丹後地域振興計画	16	16	2	3
	小計	70	75	5	8
合計	307	319	24	32	

※ 基準値からの「増加」「減少」等を数値目標としている指標については、カウントしない。また、2013年版と2012年版では、実績値計測指標数が同じではないため、基準値より後退した指標数の単純比較はできない(表-1に同じ)。

3 施策・事業の創設や改廃等に伴い指標を替えたもの

「明日の京都」策定後に、施策・事業等が創設・開始、又は、改廃等が行われたことにより、指標を変更したものは、以下のとおりである。

【府民安心の再構築】

<学びの安心>

(旧 指 標) 「知縁ネット(仮称)」登録者数(3月末現在)

(新 指 標) 「知のデータベース」登録者数(3月末現在)

【変更理由】「明日の京都」策定後、「知のデータベース」として整備・運用を開始したため。

(旧 指 標) 京都府北部地域・大学連携機構(仮称)による遠隔授業等の社会人向けプログラム数(3月末現在)

(新 指 標) 京都府北部地域・大学連携機構による遠隔授業等の社会人向けプログラム数(3月末現在)

【変更理由】「明日の京都」策定後、一般社団法人京都府北部地域・大学連携機構が設立されたため、(仮称)を削除。

(旧 指 標) 府ホームページで提供されている生涯学習講座「eラーニング塾」の受講者数(延べ人数)(年間)

(新 指 標) 府ホームページ「インターネット放送局生涯学習講座」アクセス数(延べ人数)(年間)

【変更理由】「明日の京都」策定後、生涯学習講座「eラーニング塾」が、「インターネット放送局生涯学習講座」に統合されたため。

【京都力の発揮】

<環境の「みやこ」>

(旧 指 標) 太陽光発電設備又は太陽熱利用設備を導入している戸建住宅数(累計)

(新 指 標) 太陽光発電設備を導入している戸建住宅数(累計)

【変更理由】地球温暖化対策推進計画に合わせて、指標を修正。

<産業革新・中小企業育成>

(旧 指 標) 東アジア中小企業市場開拓支援センターによる中小企業の成約件数(累計)

(新 指 標) 京都府上海ビジネスサポートセンターの支援による中小企業の成約件数(累計)

【変更理由】「明日の京都」策定後、同センターの見直しが行われ、名称等が変更されたため。

(旧 指 標) 中小企業サポートチームによる中小企業の訪問・相談件数 (年間)

(新 指 標) 中小企業応援隊による中小企業の実訪問企業数 (年間)

【変更理由】「明日の京都」策定後、中小企業の支援事業が改変されたため。

4 基準値 (基準年) や数値目標の設定等を行ったもの

「明日の京都」策定時、関係する施策・事業や計画等が創設・策定されていなかった等の事由により、基準値 (基準年) や数値目標が設定されておらず、「明日の京都」の進捗状況が計れないものについては、今回、可能な限り基準値 (基準年) や数値目標の設定等を行った。

これらについては、巻末の参考資料「中期計画関連指標 (数値目標) 2012 年 (度) 進捗状況」に設定等を行った基準値 (基準年) や数値目標を掲載するとともに、備考欄にその旨を明記した。

5 京都指標の状況等

「京都指標」の最新状況と、その基礎資料となる「平成25年度京都府民の意識調査」結果の概要について、次頁以降に示す。

「京都指標」について（概要）

京都府では、「明日の京都」に掲げた約300の施策指標（数値目標）に基づき、府が実施する施策の成果等を測定・点検し、絶え間なく施策のイノベーションに取り組み、「明日の京都」を推進することとしているが、これら数値目標の達成が「府民のしあわせの実感」という「明日の京都」の本質的な目標に適っているかどうかを点検するための手段として、府民の意識や満足感なども取り入れた「京都指標」を設定。

この「京都指標」は、「統計データ（43項目）」と「京都府民の意識調査（40項目）」で構成しており、その状況等については、次のとおり。

【京都指標の状況】 ※資料1、資料2を参照

全体の指数は大きな変化なく推移。

- ・「統計データ」：上昇傾向（2011年度：62→2012年度：64→2013年度：64）
- ・「府民意識調査結果」：
ほぼ横ばい（2011年度：59→2012年度：57→2013年度：59）

＜統計データ(2013年8月現在)＞ ※資料1、資料3を参照

- ・「明日の京都」の「体系別」では、「京都力の発揮」が3ポイント増加する一方、「地域共生の実現」が2ポイント減少した。指標の「性質別」では、ほぼ横ばいとなった。
- ・前回集計（2013.3現在）以降に数値の更新があった17指標のうち11指標で数値が改善するとともに、14項目が全国平均を上回った。

＜府民意識調査(2013年6月実施結果)＞ ※資料1、資料4、資料10を参照

- ・「明日の京都」の「体系別」では、「府民安心の再構築」が2ポイント増加する一方、「京都力の発揮」が3ポイント減少した。指標の「性質別」では、全般的に若干上昇した。
- ・前回調査（2013.1）と比較し、29項目で数値が上昇するとともに、「明日の京都」で目指す社会の状況により近いと思う割合が70%以上あった回答が14項目あった。
- ・個別指標では、「子育てに喜びややりがいを感じている親の割合（95%）」や「子どもが学校に行くことやそこで学ぶことに楽しさややりがいを感じていると思う親の割合（88%）」、「仕事にやりがいや生きがいを感じている人の割合（80%）」といった“こころの豊かさ”に関する指標に高いものが多かった。
- ・その反面、「府や市町村の実施する府民協働の取組に何らかの形で参画している人の割合（12%）」や「障害のある人と交流したり、障害のある人を支援する活動などに参画している人の割合（20%）」など、“人の絆・地域の絆”に関する指標に低いものが多かった。

- ・「これからも京都府に住み続けたいと思う人の割合」は、91～92%と、非常に高い割合で推移している。

【これまでの成果】 ※資料3、資料4、資料8を参照

2011年度以降、京都指標の状況をもとに、重点課題の絞り込みと予算・組織の集中的な投資により、指標数値の大きな改善を見た主な項目は、次のとおり。

- ・ 刑法犯少年検挙人員（少年人口1000人当たり）
 - 2011年度の全国ワースト1位（15.5人）から脱却し、2012年度は全国ワースト5位（11.8人）となった。
- ・ 自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）
 - ほぼ横ばい（21人前後）で推移していたが、2012年度は全国最小（17.6人）となった。
- ・ 障害者雇用率
 - 2010年度の制度改正により2011年度は減少（1.78%）したが、2012年度は増加（1.80%）するとともに法定雇用率（1.80%）を達成した。
- ・ 「住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思う人の割合」、「定住に必要な基盤が十分に整っていると思う人の割合」、「住んでいる地域が、すべての人にとって暮らしやすい地域であると思う人の割合」他5指標
 - 意識調査結果が2年連続で上昇

【今後の対応】

＜統計データ＞ ※資料3を参照

更新のあった17項目のうち、直近値とその前の数値が連続して後退した項目は次の2項目であるが、いずれも全国順位は低下しておらず、両指標については、今後の動きを注視。

- ・ 火災出火件数（人口10万人当たり）
（2010年:21.0件・2位→2011年:23.2件・2位→2012年:24.5件・2位）
- ・ 人権侵犯事件数（人口10万人当たり）
（2010年:22.9件・31位→2011年:23.2件・30位→2012年:23.9件・25位）

全体的には、この間の集中的な投資により改善を見たものが、再び後退することのないよう留意しながらマネジメントに努める。

＜府民意識調査＞ ※資料4、資料5を参照

2012年度、2013年度と2年連続して数値が低下した項目（小数点第3位以下四捨五入）は次の3項目。

- ・ 節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践している人の割合
（2011年度:73%→2012年度:69%→2013年度:68%）

- ・地域の祭りや伝統行事に参加している人の割合
(2011年度:45%→2012年度:43%→2013年度:42%)
- ・同居する家族と夕食を共にしている頻度
(2011年度:92%→2012年度:91%→2013年度:90%)

2013年度の京都府への定住意向との相関関係（連関性を示すガンマ値(※)）が高い項目は次のとおり。

(※「京都府に住み続けたい」と回答した人は、どのような項目に価値をおいているかを測る方法)

- ・京都府が優れたまち並みや景観、自然環境に恵まれていると思う (0.561)
- ・住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思う (0.427)
- ・住んでいる地域が、高齢者や障害のある人をはじめ、子ども、成人、妊婦、外国人などすべての人にとって暮らしやすい地域であると思う (0.373)
- ・子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる (0.354)
- ・家族介護の悩みを気軽に相談できる人がいる (0.330)

「京都指標」をとりまとめた結果、今後、“子育て・子育ち”や“介護支援”、“コミュニティ対策”、“環境対策”などが重要な課題となることがわかった。

2013年度「京都指標」の状況

○統計データ

(指標数)	①「明日の京都」体系別			②性質別							
	2013年度	2012年度	2011年度	2013年度	2012年度	2011年度					
全体 (43)	64	64	62	府民安心の再構築 (20)	57	57	56	こころの豊かさ (4)	91	91	88
				地域共生の実現 (7)	48	50	49	人の絆・地域の絆 (4)	62	63	61
				京都力の発揮 (16)	81	78	76	社会環境 (35)	62	61	60

※統計データ：各データの全国順位をもとに、1位を100、47位を0として割り振ったものの平均

○府民意識調査結果

(指標数)	①「明日の京都」体系別			②性質別							
	2013年度	2012年度	2011年度	2013年度	2012年度	2011年度					
全体 (40)	59	57	59	府民安心の再構築 (19)	61	59	60	こころの豊かさ (12)	59	57	59
				地域共生の実現 (10)	59	58	59	人の絆・地域の絆 (15)	49	48	49
				京都力の発揮 (9)	52	55	56	社会環境 (11)	70	68	68

※府民意識調査結果：「明日の京都」で目指す社会の状況に、より近い選択肢を選んだ人の割合の平均

京都指標「明日の京都」体系別一覧

【府民安心の再構築】

めざす社会の姿	理念	指標	測定方法	性質別の区分
<p>(1)子育て・子育ての安心 ～安心して子どもを産み、育てられる社会へ～</p> <p>子育てのやりがい</p> <p>子育ての絆 (社会全体での子育て)</p> <p>子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる親の割合</p> <p>産婦人科・産科医師数(15～49歳女子人口10万人当たり)<2年ごと></p> <p>小児科医師数(15歳未満人口10万人当たり)<2年ごと></p> <p>子育て・子育ての環境</p> <p>住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思う人の割合</p> <p>働いている職場において、子育てに対する理解や支援が十分であるとと思う人の割合</p> <p>暴力行為の発生件数(小・中・高等学校)(児童生徒1000人当たり)</p> <p>いじめの認知件数(児童生徒1000人当たり)</p> <p>不登校児童・生徒数(小・中学校)(1000人当たり)</p> <p>刑法犯少年数(14～19歳人口1000人当たり)</p>	子育てのやりがい	子育てに喜びややりがいを感じている親の割合	府民意識調査	こころの豊かさ
	子育ての絆 (社会全体での子育て)	子どもの健全育成に取り組むNPO法人の数(人口10万人当たり)	内閣府調査(内閣府)	人の絆・地域の絆
	子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる親の割合		府民意識調査	人の絆・地域の絆
	産婦人科・産科医師数(15～49歳女子人口10万人当たり)<2年ごと>		医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省)	社会環境
	小児科医師数(15歳未満人口10万人当たり)<2年ごと>		医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省)	社会環境
	子育て・子育ての環境	住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思う人の割合	府民意識調査	社会環境
	働いている職場において、子育てに対する理解や支援が十分であるとと思う人の割合		府民意識調査	社会環境
	暴力行為の発生件数(小・中・高等学校)(児童生徒1000人当たり)		児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(文部科学省)	社会環境
	いじめの認知件数(児童生徒1000人当たり)		児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(文部科学省)	社会環境
	不登校児童・生徒数(小・中学校)(1000人当たり)		児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(文部科学省)	社会環境
刑法犯少年数(14～19歳人口1000人当たり)		府警本部調べ	社会環境	
(2)学びの安心 ～生涯を通じて、一人ひとりの個性と能力を伸ばす教育機会が確保された社会へ～				
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちが学びたいという意欲にあふれ、確かな学力が備わります ●規則正しい生活習慣や食習慣、学習習慣を身に付け、知力や体力とともに、思いやりや心の心や環境・文化、ふるさとを大切にする心、社会参画や規範の意識、豊かな国際感覚などの生きる力(人間力)がはぐくまれます ●たれもが生涯を通じて、それぞれに適した方法で学習できるよう、いつでも学べる環境が整っています 	個性と能力を伸ばす教育	子どもが、学校に行くことやそこで学ぶことに楽しさややりがいを感じていると思う親の割合	府民意識調査	こころの豊かさ
	教育機会の確保	高等学校を中退した生徒の割合(中途退学率)	児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(文部科学省)	社会環境
	子どもの教育への関わり	子どもの有無にかかわらず、学校行事や子どもの社会体験活動への協力など、何らかの形で子どもの教育に参画している人の割合	府民意識調査	人の絆・地域の絆
	生涯学習	キャリアアップや趣味・娯楽、地域貢献活動やボランティア活動などを目的とした生涯学習に取り組んでいる人の割合	府民意識調査	こころの豊かさ

(3) 働きの安心 ～やりがいいの持てる仕事への就業機会が確保された社会へ～		
働きの安心	仕事への就業機会が確保された社会へ	指標
めざす社会の姿	理念	測定方法
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 質の高い職業教育と職業訓練を受けられる機会が確保され、だれもが働く意欲を持てるようになります ● だれもが自分の意志に基づき、それぞれのライフスタイルに合った働き方が選べます 	<p>仕事にやりがいや生きがいを感じている人の割合</p> <p>就業希望者のうち、実際に就業している人の割合(※)<5年ごと> ※有業者/有業者+無業者のうち就業希望者)</p> <p>高卒就職率(3月末現在)</p> <p>15歳以上人口のうち、職業訓練・自己啓発をした人の割合<5年ごと></p> <p>障害のある人の就業</p> <p>障害者雇用率</p>	<p>府民意識調査</p> <p>就業構造基本調査(総務省統計局)</p> <p>高等学校卒業(予定)者の就職(内定)状況に関する調査(文部科学省)</p> <p>就業構造基本調査(総務省統計局)</p> <p>障害者の雇用状況について(厚生労働省)</p>
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● だれもが自分や家族の健康を気づかい、健康づくりに取り組んでいます ● どこに住んでいても、必要な医療や福祉のサービスを受けられます ● 障害のある人、病気の人が孤立せず、生きがいを持って暮らせます 	<p>健康づくり</p> <p>医療へのアクセシビリティ</p> <p>障害のある人との交流</p>	<p>府民意識調査</p> <p>(財)社会福祉振興・試験センター資料</p> <p>救急・救助の現況(消防庁)</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p>
(4) 医療・福祉の安心 ～やりがいいの持てる仕事への就業機会が確保された社会へ～		
働きの安心	仕事への就業機会が確保された社会へ	指標
めざす社会の姿	理念	測定方法
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 療養や介護を必要とする高齢者が社会全体で支えられ、在宅でも安心して生活できます ● 高齢者が生きがいとやりがいを持って暮らせます 	<p>規則正しい食事や運動など、健康づくりに取り組んでいる人の割合</p> <p>社会福祉士・介護福祉士・精神福祉士・保健福祉士の登録者数(人口10万人当たり)</p> <p>平均救急搬送時間</p> <p>住んでいる地域に、最寄りの診療機関またはかかりつけ医へ行くための交通手段(電車、バス等)が十分に整っていると思う人の割合</p> <p>病气やけがで困ったときに気軽に相談できるかかりつけ医がいる人の割合</p> <p>障害のある人と交流したり、障害のある人を支援する活動などに参加している人の割合</p>	<p>府民意識調査</p> <p>(財)社会福祉振興・試験センター資料</p> <p>救急・救助の現況(消防庁)</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p>
(5) 長寿の安心 ～安心して年齢を重ね、長寿を謳歌できる社会へ～		
働きの安心	仕事への就業機会が確保された社会へ	指標
めざす社会の姿	理念	測定方法
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 療養や介護を必要とする高齢者が社会全体で支えられ、在宅でも安心して生活できます ● 高齢者が生きがいとやりがいを持って暮らせます 	<p>健康長寿</p> <p>介護の負担感の軽減</p> <p>介護等の絆(社会全体での高齢者支援)</p> <p>高齢者の生きがい・やりがい</p>	<p>介護保険事業状況報告調査(厚生労働省)</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p>

(6) 暮らしの安心 ～犯罪や事故の危険性が小さく、災害にも強い社会へ～	
<p>犯罪の起きにくい社会づくり</p> <p>交通事故からの安心感</p> <p>災害からの安心感</p> <p>犯罪や災害への備え(高い府民意識)</p> <p>食の安心・安全</p> <p>いのちを支える</p>	<p>街頭犯罪(※)認知件数(人口10万人当たり) ※街頭犯罪:屋外で発生する強盗、恐喝及び強制わいせつの犯罪並びに窃盗犯のうち、ひったくり、車上狙い、自動販売機狙い、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗及び部品狙いの犯罪</p> <p>交通事故死傷者数(人口10万人当たり)</p> <p>火災出火件数(人口10万人当たり)</p> <p>自主防災組織の活動カバー率</p> <p>地域の防犯または防災活動に取り組んでいる人の割合</p> <p>地震などの災害に備えて、避難場所や経路の確認をはじめとする避難準備や物資の備蓄などに取り組んでいる人の割合</p> <p>食料を購入する際、地元産であることを意識して選んでいる人の割合</p> <p>自殺者数(人口10万人当たり)</p>
<p>社会環境</p> <p>社会環境</p> <p>社会環境</p> <p>人の絆・地域の絆</p> <p>人の絆・地域の絆</p> <p>こころの豊かさ</p> <p>こころの豊かさ</p> <p>こころの豊かさ</p>	<p>犯罪統計資料(警察庁)</p> <p>交通事故の発生状況(警察庁)</p> <p>火災年報(総務省消防庁)</p> <p>消防防災震災対策現況調査(総務省消防庁)</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p> <p>自殺の状況(警察庁)</p>

【地域共生の実現】

めざす社会の姿	理念	指標	測定方法	性質別の区分
(1) 人権尊重 ～一人ひとりの尊厳と人権が尊重され、だれもが自分らしく生きることのできる社会へ～	<p>人権の意識</p> <p>ユニバーサルデザインの推進</p>	<p>人権侵害事件数(人口10万人当たり)</p> <p>日々の生活の中で、性別や身体状況などによる差別、虐待や誹謗中傷などの人権侵害があると感じている人の割合 (※調査結果を「京都指標」として利用する際には、感じない・あまり感じないと回答した人の割合を使用)</p> <p>高齢者等のための設備がある住宅(※)の割合 ※以下のいずれか一つ以上に該当する住宅 ・手すりがある ・またぎやすい高さの浴槽 ・廊下などが重いすべで通行可能な幅 ・段差のない屋内 ・道路から玄関まで重いすべで通行可能</p> <p>住んでいる地域が、高齢者や障害のある人をはじめ、子ども、成人、妊婦、外国人などすべての人にとって暮らしやすい地域であると思う人の割合</p>	<p>人権侵害事件統計(法務省)</p> <p>府民意識調査</p> <p>住宅・土地統計調査(総務省)</p> <p>府民意識調査</p>	<p>社会環境</p> <p>社会環境</p> <p>社会環境</p> <p>社会環境</p>

そこでは、

- あらゆる人々の人権が尊重され、互いを認め合い、だれもが自己実現に向けて個性や能力を発揮できます
- 障害のある人もない人も、ともに支え合い、同じように快適に生活し、活動できます

(2) 地域力再生 ～地域の課題解決に向け、地域のみんなが連携・協働する社会へ～					
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 京都の持つ環境や文化の力もいかしながら、すべての地域で人々の絆づくりが進みます ● 行政はもちろん、住民、企業、大学、NPOなど様々な人や組織が自立しつつ、それぞれの強みと協働による相乗効果を発揮しながら、みんなが社会を支えます 	地域課題への取組	<p>認証NPO法人数(人口10万人当たり)</p> <p>ボランティア活動の年間行動者率(※)<5年ごと> ※ボランティア活動の年間行動者数/10歳以上人口</p> <p>様々な地域課題に対応する自治会やNPOの活動などに参画している人の割合</p> <p>府や市町村の実施する府民協働の取組(※)に何らかの形で参画している人の割合 ※地域力再生事業、命の里事業、モデルフロレスト運動、府民公募型安心・安全整備事業、防犯ステーション、子ども・地域見守り隊、さわやかボランティア・ロード事業 など</p>	<p>内閣府調査(内閣府)</p> <p>社会生活基本調査(総務省)</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p>	<p>人の絆・地域の絆</p> <p>人の絆・地域の絆</p> <p>人の絆・地域の絆</p> <p>人の絆・地域の絆</p>	
	(3) 新たなコミュニティづくり ～自由で開かれた新しいタイプのコミュニティのある社会へ～				
	<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● これまでの家族や地縁に加えて、人々が自分の意志で様々な形をつながり、多彩な活動が行われます ● みんなの知恵や知識、能力がより良い地域づくりのために結集され、学習し成長する地域が形成されます 	<p>家族の絆</p> <p>友人との絆</p> <p>近隣との絆</p>	<p>同居する家族と夕食を共にしている頻度</p> <p>身の回りに親しい友人・仲間がいる、または、定期的に顔を出す場所がある人の割合</p> <p>困ったときに気軽に頼れるご近所さんがいる人の割合</p> <p>住んでいる地域で、自治会活動などのコミュニティ活動が活発に行われていると思う人の割合</p>	<p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p>	<p>人の絆・地域の絆</p> <p>人の絆・地域の絆</p> <p>人の絆・地域の絆</p> <p>人の絆・地域の絆</p>
		(4) 男女共同参画 ～男女が社会の対等な構成員として様々な場で自己実現できる社会へ～			
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 男女の個人としての尊厳が大切にされ、だれもが持てる力を発揮できます ● 男女の雇用機会が均等になり、社会参画を阻害する制約や慣行がなくなります 		<p>家事・育児の負担感の軽減</p>	<p>就業を希望する無業の女性のうち、結婚・育児を理由に前職を離職した人の割合<5年ごと></p> <p>配偶者が家事を十分に分担していると思う既婚者の割合</p>	<p>就業構造基本調査(総務省統計局)</p> <p>府民意識調査</p>	<p>社会環境</p> <p>人の絆・地域の絆</p>
		めざす社会の姿	理念	指標	測定方法
(5) ふるさと定住 ～だれもが生まれ育った土地に住み続けられる魅力ある社会へ～					
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● すべての地域が住みやすく、それぞれが個性と魅力にあふれています ● すべての地域に、生きがいとやりがいを持って働くことのできる就業の機会があります ● 交通、情報通信、医療、教育、上下水道など、すべての地域が定住可能となるよう必要な基盤が整っています 	<p>ふるさとでの就業</p> <p>ふるさとでの住みやすさ・定住環境</p>	<p>居住する土地で働く人の割合(※)<5年ごと> ※自市町村内で従業する者/就業者数</p> <p>水洗化普及率</p> <p>住んでいる地域に、就業、交通、情報通信、医療、教育、上下水道などの定住に必要な基盤が十分に整っていると思う人の割合</p>	<p>国勢調査(総務省)</p> <p>各年度の整備量調査による具体的数量把握</p> <p>府民意識調査</p>	<p>社会環境</p> <p>社会環境</p> <p>社会環境</p>	

【京都力の発揮】

めざす社会の姿	理念	指標	標	測定方法	性質別の区分
(1)人づくり ～次代の京都を担う人や、世界を舞台に活躍する人づくりの京都へ～					
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●京都にある大学・研究機関、企業などが世界と活発に交流し、世界水準の最先端の研究活動が行われ、様々な分野でイノベーションが進展します ●世界を視野に入れた水準の高い教育が様々な分野で行われます ●地域課題の解決のために人や資源の持つ力を引き出し、結び付けることができる地域リーダーが育ち、各地で活躍します 	<p>持てる力の発揮</p> <p>グローバルに活躍する人材</p>	<p>仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思う人の割合</p> <p>留学生数(人口10万人当たり)</p> <p>研究機関数(人口10万人当たり)<3年ごと></p>	<p>府民意識調査</p> <p>外国人留学生在籍状況調査((独)日本学生支援機構)</p> <p>事業所・企業統計調査(総務省)</p>	<p>こころの豊かさ</p> <p>社会環境</p> <p>社会環境</p>	
(2)環境の「みやこ」～持続可能な人類社会のモデルとして、世界の範となる環境を実現する京都へ～					
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●産業はもとより、労働、移動、消費、居住、教育などのあるらゆる社会の営みが、低炭素社会の構築に向かいます ●自然環境と調和した暮らしが営まれ、適正な資源循環のしくみを備えた循環型社会が形成されます ●生きとし生けるものすべての命が大切にはぐくまれます 	<p>低炭素社会の構築</p> <p>循環型社会の形成</p> <p>優れた景観、自然環境等</p> <p>自然環境と調和した暮らし</p>	<p>府民総生産当たりエネルギー消費量(※) ※最終エネルギー消費量/実質府民総生産</p> <p>一般廃棄物(ごみ)排出量(一人当たり)</p> <p>京都府が優れたまち並みや景観、自然環境に恵まれていると思う人の割合</p> <p>節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践している人の割合</p>	<p>都道府県別エネルギー消費統計(資源エネルギー庁)</p> <p>一般廃棄物処理事業実態調査(環境省)</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p>	<p>社会環境</p> <p>社会環境</p> <p>社会環境</p> <p>こころの豊かさ</p>	
(3)文化創造 ～豊かな伝統文化を継承し、新しい文化が次々と萌芽する卓越した文化力のある京都へ～					
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●すべての地域で伝統文化が継承され、新しい文化の創造へとつながっていきます ●だれもが文化活動やスポーツを楽しむ、芸術に親しむようになります 	<p>文化とのふれ合い</p> <p>伝統的な文化や風習を守り、伝える心</p> <p>着物の着用</p> <p>スポーツとのふれ合い</p>	<p>演芸・演劇・舞踊鑑賞の年間行動者率(※)<5年ごと> ※演芸・演劇・舞踊鑑賞の年間行動者数/10歳以上人口</p> <p>住んでいる地域に、博物館や美術館、劇場や文化ホールなど、美術や音楽、演劇といった芸術文化活動を行うための場、あるいはそれらを鑑賞するための場が十分に整っていると思う人の割合</p> <p>京都府では歴史的な文化遺産や文化財等が社会全体で守られ、引き継がれていると思う人の割合</p> <p>地域の祭りや伝統行事に参画している人の割合</p> <p>着物を着用している人の割合</p> <p>スポーツの年間行動者率(※)<5年ごと> ※スポーツの年間行動者数/10歳以上人口</p>	<p>社会生活基本調査(総務省)</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p> <p>府民意識調査</p> <p>社会生活基本調査(総務省)</p>	<p>こころの豊かさ</p> <p>社会環境</p> <p>社会環境</p> <p>人の絆・地域の絆</p> <p>こころの豊かさ</p> <p>こころの豊かさ</p>	

めざす社会の姿	理念	指標	測定方法	性質別の区分
(4) 産業革新・中小企業育成 ～京都経済を支える中小企業が安定した経営を行う中で、未来を切りひらく産業のイノベーションが進展する京都へ～				
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次代の京都経済を牽引する新しい京都ブランド産業が育ちます ● 伝統産業の匠の技が継承され、新たな生活文化産業が育ちます ● 京都築のオンリーワン技術やオンリーワン製品が数多く生まれます ● すべての地域で世界水準の観光が楽しめ、集客や交流産業が拡大します 	<p>京都の産業力</p> <p>伝統産業を守り、伝える心</p> <p>京都の観光力</p>	製造業従事者一人当たり付加価値額(従業者4人以上事業所) ※H23工業統計は中止(経済センサスH24実施のため)	工業統計調査(経済産業省)	社会環境
		事業所開業率<3年ごと>	事業所・企業統計調査(総務省)	社会環境
		特許出願件数(人口10万人当たり)	特許庁調査(特許庁)	社会環境
		就業者一人当たり農業産出額(販売農家)<5年ごと>	農林水産統計(農林水産省)及び農業センサス(農林水産省)	社会環境
		就業者一人当たり漁業生産額(海面漁業)<5年ごと>	農林水産統計(農林水産省)及び漁業センサス(農林水産省)	社会環境
(5) 交流連帯 ～府域の内外を快適に移動したり、情報をやりとりでき、世界中から人々が集い交わる京都へ～				
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● だれもが、どこへでも便利に快適に移動でき、いつでもどこでも情報交流ができて基盤や手段が整い、新しいつながりや新たな活力が生まれます ● 世界中から人々が訪れ、交流し、地域に溶け込んで暮らせます 	交流の基盤づくり	府県相互間旅客輸送人員(人口一人当たり) ※H21→22調査法変更あり	旅客地域流動統計(国土交通省)	社会環境
	世界との交流	出国率(※) ※出国者数/総人口	都道府県別海外旅行者数と出国率((社)日本旅行業協会)	社会環境
		国際会議の参加者数(人口10万人当たり)	国際会議統計(日本政府観光局)	社会環境
		海外に住む友人(海外在住の日本人を含む。)または国内に住む外国人の友人がいる人の割合	府民意識調査	人の絆・地域の絆
(6) 希望に輝く地域づくり ～それぞれの地域が「みやこ」となるよう夢のある地域構想が展開する京都へ～				
<p>そこでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 個性豊かな地域特性をいかして、すべての地域で特色ある地域構想が展開します ● それぞれの地域の間で様々な交流が生まれるように、多様で多彩なプログラムが展開します 	魅力ある「京都」	これからも京都府に住み続けたいと思う人の割合	府民意識調査	—
		将来叶えたい夢や実現したい目標がある人の割合	府民意識調査	—

統計データ (2013.8現在)

	統計データ項目	最新実績値		直前実績値	推移 (☆:改善 ★:後退)
		年(度)	全国比較 (◎:上位5位、○:平均以上、△:平均未満、×:下位5位)		
府民安心の再構築	子どもの健全育成に取り組むNPO法人の数(人口10万人当たり)	15.66法人 2012年度	○	15.62法人 2011年度	☆
	産婦人科・産科医師数(15～49歳女子人口10万人当たり)<2年ごと>	43.9人 2010年	○	43.6人 2008年	☆
	小児科医師数(15歳未満人口10万人当たり)<2年ごと>	125.6人 2010年度	◎	112.9人 2008年度	☆
	暴力行為の発生件数(小・中・高等学校)(児童生徒1000人当たり)	8.3人 2011年度	×	9.4人 2010年度	☆
	いじめの認知件数(児童生徒1000人当たり)	1.63件 2011年度	○	1.64件 2010年度	☆
	不登校児童・生徒数(小・中学校)(1000人当たり)	10.4人 2011年度	○	10.7人 2010年度	☆
	高等学校を中退した生徒の割合(中途退学率)	1.5% 2011年度	○	1.6% 2010年度	☆
	刑法犯少年数(14～19歳人口1000人当たり)[速報時点の試算値]	11.8人 2012年	×	15.5人 2011年	☆
	就業希望者のうち、実際に就業している人の割合(※)<5年ごと> ※有業者/(有業者+無業者のうち就業希望者)	83.2% 2012年	×	83.7% 2007年	★
	高卒就職率(3月末現在) 参考: 全国平均95.8% (2012年)	94.7% 2012年	△-○	95.3% 2011年	★
	15歳以上人口のうち、職業訓練・自己啓発をした人の割合<5年ごと>	27.1% 2012年	○-◎	26.6% 2007年	☆
	障害者雇用率	1.80% 2012年	○	1.78% 2011年	☆
	社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士の登録者数(人口10万人当たり)	1201.4人 2012年度	○	1,028.4人 2011年度	☆
	平均救急搬送時間	31.9分 2011年	○	30.3分 2010年	★
	第1号被保険者(65歳以上)の要介護認定者割合	13.7% 2011年度	△	13.5% 2010年度	★
	街頭犯罪(※)認知件数(人口10万人当たり) ※街頭犯罪: 屋外で発生する強盗、窃盗、強制わいせつなど	567件 2012年	△	668件 2011年	☆
	交通事故死傷者数(人口10万人当たり)	578.8人 2012年	○	652.3人 2011年	☆
	火災出火件数(人口10万人当たり)[速報時点の試算値]	24.5件 2012年	◎	23.2件 2011年	★
	自主防災組織の活動力パー率	89.6% 2012年	○	89.1% 2011年	☆
	自殺者数(人口10万人当たり)	17.7人 2012年	◎	21.5人 2011年	☆
地域共生の実現	人権侵犯事件数(人口10万人当たり)	23.9件 2012年	△	23.2件 2011年	★
	高齢者等のための設備がある住宅(※)の割合<5年ごと> ※手すりがある、段差がないなどの住宅	47.3% 2008年	△	39.6% 2003年	☆
	認証NPO法人数(人口10万人当たり)	44.0法人 2012年度	◎	40.0法人 2011年度	☆
	ボランティア活動の年間行動者率(※)<5年ごと> ※ボランティア活動の年間行動者数/10歳以上人口	23.2% 2011年	×	23.4% 2006年	★
	就業を希望する無業の女性のうち、結婚・育児を理由に前職を離職した人の割合<5年ごと>	32.88% 2012年	○	34.13% 2007年	☆
	居住する土地で働く人の割合(※)<5年ごと> ※自市町村内で従業者/就業者数	64.9% 2010年	○	71.1% 2005年	★
	水洗化普及率	96.1% 2011年度	◎	95.4% 2010年度	☆
京都力の発揮	留学生数(人口10万人当たり)	262.86人 2012年度	◎	237.31人 2011年度	☆
	研究機関数(人口10万人当たり)<3年ごと>	8.99 2009年	◎	6.99 2006年	☆
	府民総生産当たりエネルギー消費量(※) ※最終エネルギー消費量/実質府民総生産	26.2 2010年度 GJ/百万円	◎	26.4 2009年度 GJ/百万円	☆
	一般廃棄物(ごみ)排出量(一人当たり)	0.340t 2011年度	○	0.342t 2010年度	☆
	演芸・演劇・舞踊鑑賞の年間行動者率(※)<5年ごと> ※演芸・演劇・舞踊鑑賞の年間行動者数/10歳以上人口	14.6% 2011年	◎	15.3% 2006年	★
	スポーツの年間行動者率(※)<5年ごと> ※スポーツの年間行動者数/10歳以上人口	63.3% 2011年	○	68.1% 2006年	★
	製造業従事者一人当たり付加価値額(従業者4人以上事業所)	14.3百万円 2011年	○	13.0百万円 2010年	☆
	事業所開業率<3年ごと>	2.5% 06～09年	△	5.8% 04～06年	★
	特許出願件数(人口10万人当たり)	345.4件 2012年	◎	363.0件 2011年	★
	就業者一人当たり農業産出額(販売農家)<5年ごと>	226.9万円 2010年	△	186.0万円 2005年	☆
	就業者一人当たり漁業生産額(海面漁業)<5年ごと>	372.5万円 2008年	×	363.2万円 2003年	☆
	創業100年以上の長寿企業の比率(※) ※都道府県別の登録企業数のうち長寿企業が占める割合	3.80% 2012年	◎	3.93% 2011年	★
	外国人延べ宿泊者数(人口1000人当たり)	629.4人 2012年	◎	338.7人 2011年	☆
	府県相互間旅客輸送人員(人口一人当たり)	275.9人 2011年度	◎	285.4人 2010年度	★
	出国率(※) ※出国者数/総人口	15.9% 2012年	○	14.7% 2011年	☆
国際会議の参加者数(人口10万人当たり)	3,234.8人 2011年	◎	4,173.8人 2010年	★	
全43項目(更新項目17項目)	◎14項目○17項目△7項目×5項目		更新17項目のうち☆11項目(65%)		

「府民意識調査(2013.6実施)」結果分析一覧表

明日の京都 体系別	「府民意識調査」項目	「京都指標」に係る割合		推移		(参考) 2011年度 (割合)
		○ 70%以上 × 30%以下		(○増、×減、 -横ばい)	2012年度 (割合)	
府民安心の再構築	子育てに喜びややりがいを感じている親の割合	95	○	○	93	95
	子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる親の割合	83	○	○	81	82
	住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思ふ人の割合	80	○	○	77	76
	働いている職場において、子育てに対する理解や支援が十分であると思ふ人の割合	65		○	61	63
	子どもが、学校に行くことやそこで学ぶことに楽しさややりがいを感じていると思ふ親の割合	88	○	○	86	89
	子どもの有無にかかわらず、学校行事や子どもの社会体験活動への協力など、何らかの形で子どもの教育に参画している人の割合	46		○	43	44
	キャリアアップや趣味・娯楽、地域貢献活動やボランティア活動などを目的とした生涯学習に取り組んでいる人の割合	46		○	44	46
	仕事にやりがいや生きがいを感じている人の割合	80	○	○	77	80
	規則正しい食事や運動など、健康づくりに取り組んでいる人の割合	72	○	○	68	70
	住んでいる地域に、最寄りの診療機関またはかかりつけ医へ行くための交通手段(電車、バス等)が十分に整っていると思ふ人の割合	69		○	68	68
	病気やけがで困ったときに気軽に相談できるかかりつけ医がいる人の割合	60		-	60	62
	障害のある人と交流したり、障害のある人を支援する活動などに参画している人の割合	20	×	-	20	17
	家族の介護に負担や苦痛を感じている家族介護者の割合 ※	48		○	46	43
	家族介護の悩みを気軽に相談できる人がいる家族介護者の割合	63		○	60	63
	住んでいる地域に、デイサービスやショートステイなどの老人福祉施設、介護ボランティアやNPOなど、地域全体で高齢者を支える体制が十分に整っていると思ふ人の割合	66		○	63	63
	趣味や地域貢献活動など、やりがいや生きがいを感じるものがある高齢者の割合	64		○	59	61
	地域の防犯または防災活動に取り組んでいる人の割合	24	×	○	22	26
	地震などの災害に備えて、避難場所や経路の確認をはじめとする避難準備や物資の備蓄などに取り組んでいる人の割合	29	×	○	28	30
	食料を購入する際、地元産であることを意識して選んでいる人の割合	58		○	57	56
	地域共生の実現	日々の生活の中で、性別や身体状況などによる差別、虐待や誹謗中傷などの人権侵害があると感じている人の割合 ※	70	○	○	67
住んでいる地域が、高齢者や障害のある人をはじめ、子ども、成人、妊婦、外国人などすべての人にとって暮らしやすい地域であると思ふ人の割合		62		○	61	59
様々な地域課題に対応する自治会やNPOの活動などに参画している人の割合		26	×	○	22	25
府や市町村の実施する府民協働の取組に何らかの形で参画している人の割合		12	×	-	12	12
同居する家族と夕食を共にしている頻度		90	○	×	91	92
身の回りに親しい友人・仲間がいる、または、定期的に顔を出す場所がある人の割合		76	○	-	76	78
困ったときに気軽に頼れるご近所さんがいる人の割合		50		○	46	50
住んでいる地域で、自治会活動などのコミュニティ活動が活発に行われていると思ふ人の割合		58		○	54	55
配偶者が家事を十分に分担していると思ふ既婚者の割合		73	○	○	71	73
住んでいる地域に、就業、交通、情報通信、医療、教育、上下水道などの定住に必要な基盤が十分に整っていると思ふ人の割合		77	○	○	76	74
京都力の発揮	仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思ふ人の割合	56		○	52	54
	京都府が優れたまち並みや景観、自然環境に恵まれていると思ふ人の割合	87	○	○	85	85
	節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践している人の割合	68		×	69	73
	住んでいる地域に、博物館や美術館、劇場や文化ホールなど、美術や音楽、演劇といった芸術文化活動を行うための場、あるいはそれらを鑑賞するための場が十分に整っていると思ふ人の割合	41		×	44	43
	京都府では歴史的な文化遺産や文化財等が社会全体で守られ、引き継がれていると思ふ人の割合	85	○	○	84	87
	地域の祭りや伝統行事に参画している人の割合	42		×	43	45
	着物を着用している人の割合	9	×	○	8	9
	京都府では西陣織や丹後ちりめん、京焼・清水焼をはじめとする伝統産業が社会全体で守られ、引き継がれていると思ふ人の割合	64		○	59	62
	海外に住む友人(海外在住の日本人を含む。)または国内に住む外国人の友人がいる人の割合	13	×	×	15	13
	将来叶えたい夢や実現したい目標がある人の割合	58		/	/	/
これからも京都府に住み続けたいと思ふ人の割合	91	○	-	91	92	
全 40 項目		○14項目(35%) × 7項目(18%)		○29項目(73%) × 5項目(13%)		

※調査結果を「京都指標」として利用するために、感じていない・あまり感じていない等と回答した人の割合を算出して記載。

年齢						居住地域					性別		γ 値		
20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	丹後	中丹	南丹	京都	山城	男性	女性	「府に住み続けたいと思う」との連関性	○:0.300以上	
○全体集計値から15ポイント以上高い、×全体集計値から15ポイント以上低い (性別=異性との差が15ポイント以上高い○、低い×)															
														0.247	
														0.354	○
														0.427	○
														0.245	
														0.253	
×		○												0.080	
														0.073	
														0.318	○
														0.140	
							×	×	×					0.216	
					○									0.269	
														0.147	
○							×							0.092	
												×	○	0.330	○
														0.324	○
														0.166	
														0.183	
														0.195	
×					○	○						×	○	0.144	
														0.192	
														0.373	○
×														0.209	
														0.236	
														0.104	
														0.224	
×					○	○								0.273	
														0.270	
○												○	×	0.159	
							×	×						0.294	
														0.238	
														0.561	○
														0.122	
							×	×	×					0.203	
							×							0.313	○
														0.206	
														0.201	
							×							0.252	
														-0.071	
○					×									0.012	
													○ 8項目(21%)		

「府民意識調査」において定住意向と連関性が高い項目 (京都府に住み続けたいと回答した人が価値をおいている項目)

「府民意識調査」項目	γ 値			
	2011年度	2012年度	2013年度	3力年の 平均値
京都府が優れたまち並みや景観、自然環境に恵まれていると思う人の割合	0.522	0.529	0.561	0.537
住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思う人の割合	0.380	0.352	0.427	0.386
住んでいる地域が、高齢者や障害のある人をはじめ、子ども、成人、妊婦、外国人などすべての人にとって暮らしやすい地域であると思う人の割合	0.394	0.344	0.373	0.370
京都府では歴史的な文化遺産や文化財等が社会全体で守られ、引き継がれていると思う人の割合	0.335	0.308	0.313	0.319
住んでいる地域に、就業、交通、情報通信、医療、教育、上下水道などの定住に必要な基盤が十分に整っていると思う人の割合	0.362	0.237	0.294	0.298
仕事にやりがいや生きがいを感じている人の割合	0.330	0.245	0.318	0.298
住んでいる地域に、デイサービスやショートステイなどの老人福祉施設、介護ボランティアやNPOなど、地域全体で高齢者を支える体制が十分に整っていると思う人の割合	0.223	0.238	0.324	0.262
困ったときに気軽に頼れるご近所さんがいる人の割合	0.235	0.275	0.273	0.261
住んでいる地域で、自治会活動などのコミュニティ活動が活発に行われていると思う人の割合	0.222	0.238	0.270	0.243
病気やけがで困ったときに気軽に相談できるかかりつけ医がいる人の割合	0.231	0.208	0.269	0.236
子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる親の割合	0.187	0.161	0.354	0.234
家族介護の悩みを気軽に相談できる人がいる家族介護者の割合	0.083	0.287	0.330	0.233
子育てに喜びややりがいを感じている親の割合	0.283	0.170	0.247	0.233
京都府では西陣織や丹後ちりめん、京焼・清水焼をはじめとする伝統産業が社会全体で守られ、引き継がれていると思う人の割合	0.207	0.210	0.252	0.223
地域の祭りや伝統行事に参画している人の割合	0.216	0.191	0.206	0.204
住んでいる地域に、最寄りの診療機関またはかかりつけ医へ行くための交通手段(電車、バス等)が十分に整っていると思う人の割合	0.232	0.154	0.216	0.201
働いている職場において、子育てに対する理解や支援が十分であると思う人の割合	0.236	0.103	0.245	0.195
着物を着用している人の割合	0.206	0.167	0.201	0.191
地域の防犯または防災活動に取り組んでいる人の割合	0.180	0.209	0.183	0.191
身の回りに親しい友人・仲間がいる、または、定期的に顔を出す場所がある人の割合	0.214	0.132	0.224	0.190
子どもが、学校に行くことやそこで学ぶことに楽しさややりがいを感じていると思う親の割合	0.158	0.144	0.253	0.185
様々な地域課題に対応する自治会やNPOの活動などに参画している人の割合	0.191	0.148	0.209	0.183
仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思う人の割合	0.164	0.128	0.238	0.177
住んでいる地域に、博物館や美術館、劇場や文化ホールなど、美術や音楽、演劇といった芸術文化活動を行うための場、あるいはそれらを鑑賞するための場が十分に整っていると思う人の割合	0.206	0.119	0.203	0.176
府や市町村の実施する府民協働の取組に何らかの形で参画している人の割合	0.097	0.146	0.236	0.160
規則正しい食事や運動など、健康づくりに取り組んでいる人の割合	0.222	0.115	0.140	0.159
地震などの災害に備えて、避難場所や経路の確認をはじめとする避難準備や物資の備蓄などに取り組んでいる人の割合	0.162	0.119	0.195	0.159
同居する家族と夕食を共にしている頻度	0.237	0.113	0.104	0.151
食料を購入する際、地元産であることを意識して選んでいる人の割合	0.172	0.121	0.144	0.146
節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践している人の割合	0.196	0.107	0.122	0.142
障害のある人と交流したり、障害のある人を支援する活動などに参画している人の割合	0.178	0.096	0.147	0.140
趣味や地域貢献活動など、やりがいや生きがいを感じるものがある高齢者の割合	0.119	0.132	0.166	0.139
子どもの有無にかかわらず、学校行事や子どもの社会体験活動への協力など、何らかの形で子どもの教育に参画している人の割合	0.164	0.133	0.080	0.126
配偶者が家事を十分に分担していると思う既婚者の割合	0.071	0.048	0.159	0.093
キャリアアップや趣味・娯楽、地域貢献活動やボランティア活動などを目的とした生涯学習に取り組んでいる人の割合	0.098	0.069	0.073	0.080
家族の介護に負担や苦痛を感じている家族介護者の割合 ※	0.014	0.067	0.092	0.058
海外に住む友人(海外在住の日本人を含む。)または国内に住む外国人の友人がいる人の割合	-0.049	-0.058	-0.071	-0.060
日々の生活の中で、性別や身体状況などによる差別、虐待や誹謗中傷などの人権侵害があると感じている人の割合 ※	-0.193	0.137	0.192	0.045

※調査結果を「京都指標」として利用するため、感じていない・あまり感じていない等の回答を良い状況として、回答状況を逆転させて算出。

府民意識調査 属性別集計一覧

属性		全体	「明日の京都」体系別の区分			「明日の京都」性質別の区分		
			府民安心 の再構築	地域共生 の実現	京都力 の発揮	こころの 豊かさ	人の絆・ 地域の絆	社会環境
年齢	20歳代	58	59	55	53	60	44	71
	30歳代	57	58	55	52	58	46	66
	40歳代	59	61	58	51	59	49	69
	50歳代	57	59	56	48	57	48	65
	60歳代	61	63	63	51	62	52	69
	70歳～	63	65	67	54	63	54	74
性別	男性	58	58	59	49	58	48	68
	女性	60	63	59	54	61	51	71
居住地域	丹後	56	59	58	43	56	52	57
	中丹	58	61	59	48	60	53	61
	南丹	57	59	59	50	58	50	63
	京都市	60	61	60	53	60	49	71
	山城	59	60	59	52	59	48	71

府民意識調査(2013. 6実施) 属性別割合一覧 (%)

問	「府民意識調査」項目	割合	昨年度割合	推移	性別	
					男性	女性
1	子育てに喜びややりがいを感じている親の割合	95	93	2	94	97
2	子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる親の割合	83	81	2	76	89
3	住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思ふ人の割合	80	77	3	79	80
4	働いている職場において、子育てに対する理解や支援が十分であると思ふ人の割合	65	61	4	63	68
5	子どもが、学校に行くことやそこで学ぶことに楽しさややりがいを感じていると思ふ親の割合	88	86	2	89	87
6	子どもの有無にかかわらず、学校行事や子どもの社会体験活動への協力など、何らかの形で子どもの教育に参画している人の割合	46	43	3	41	51
7	キャリアアップや趣味・娯楽、地域貢献活動やボランティア活動などを目的とした生涯学習に取り組んでいる人の割合	46	44	2	45	46
8	仕事にやりがいや生きがいを感じている人の割合	80	77	3	80	80
9	規則正しい食事や運動など、健康づくりに取り組んでいる人の割合	72	68	4	68	76
10	住んでいる地域に、最寄りの診療機関またはかかりつけ医へ行くための交通手段(電車、バス等)が十分に整っていると思ふ人の割合	69	68	1	70	67
11	病気やけがで困ったときに気軽に相談できるかかりつけ医がいる人の割合	60	60	0	56	64
12	障害のある人と交流したり、障害のある人を支援する活動などに参画している人の割合	20	20	0	19	20
13	趣味や地域貢献活動など、やりがいや生きがいを感じるものがある人の割合(※京都指標は高齢者の割合)	64	59	5	66	62
14	家族の介護に負担や苦痛を感じている家族介護者の割合	47	46	1	49	46
15	家族介護の悩みを気軽に相談できる人がいる家族介護者の割合	63	60	3	54	71
16	住んでいる地域に、デイサービスやショートステイなどの老人福祉施設、介護ボランティアやNPOなど、地域全体で高齢者を支える体制が十分に整っていると思ふ人の割合	66	63	3	61	70
17	地域の防犯または防災活動に取り組んでいる人の割合	24	22	2	26	23
18	地震などの災害に備えて、避難場所や経路の確認をはじめとする避難準備や物資の備蓄などに取り組んでいる人の割合	29	28	1	27	31
19	食料を購入する際、地元産であることを意識して選んでいる人の割合	58	57	1	47	67
20	日々の生活の中で、性別や身体状況などによる差別、虐待や誹謗中傷などの人権侵害があると感じている人の割合	70	67	3	69	71
21	住んでいる地域が、高齢者や障害のある人をはじめ、子ども、成人、妊婦、外国人などすべての人にとって暮らしやすい地域であると思ふ人の割合	62	61	1	61	63
22	様々な地域課題に対応する自治会やNPOの活動などに参画している人の割合	26	22	4	27	24
23	府や市町村の実施する府民協働の取組に何らかの形で参画している人の割合	12	12	0	14	11
24	同居する家族と夕食を共にしている頻度	89	91	▲ 2	86	93
25	身の回りに親しい友人・仲間がいる、または、定期的に顔を出す場所がある人の割合	76	76	0	71	82
26	困ったときに気軽に頼れるご近所さんがいる人の割合	50	46	4	46	53
27	住んでいる地域で、自治会活動などのコミュニティ活動が活発に行われていると思ふ人の割合	58	54	4	56	61
28	配偶者が家事を十分に分担していると思ふ既婚者の割合	73	71	2	87	62
29	住んでいる地域に、就業、交通、情報通信、医療、教育、上下水道などの定住に必要な基盤が十分に整っていると思ふ人の割合	77	76	1	78	76
30	仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思ふ人の割合	56	52	4	60	52
31	京都府が優れたまち並みや景観、自然環境に恵まれていると思ふ人の割合	87	85	2	83	89
32	節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践している人の割合	68	69	▲ 1	62	74
33	住んでいる地域に、博物館や美術館、劇場や文化ホールなど、美術や音楽、演劇といった芸術文化活動を行うための場、あるいはそれらを鑑賞するための場が十分に整っていると思ふ人の割合	40	44	▲ 4	40	41
34	京都府では歴史的な文化遺産や文化財等が社会全体で守られ、引き継がれていると思ふ人の割合	85	84	1	82	88
35	地域の祭りや伝統行事に参画している人の割合	42	43	▲ 1	41	44
36	着物を着用している人の割合	9	8	1	4	13
37	京都府では西陣織や丹後ちりめん、京焼・清水焼をはじめとする伝統産業が社会全体で守られ、引き継がれていると思ふ人の割合	63	59	4	57	69
38	海外に住む友人(海外在住の日本人を含む。)または国内に住む外国人の友人がいる人の割合	13	15	▲ 2	15	12
39	将来叶えたい夢や実現したい目標がある人の割合	58		-	64	52
40	これからも京都府に住み続けたいと思ふ人の割合	91	91	0	89	93

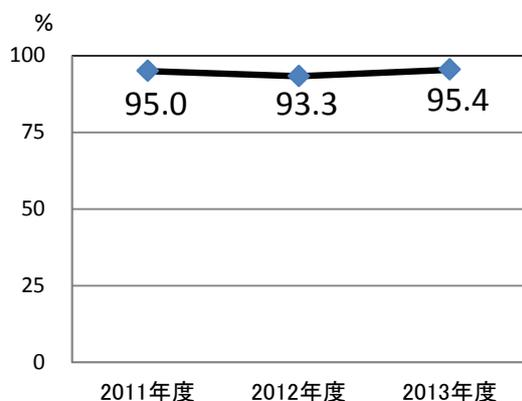
※調査結果を「京都指標」として利用するため、感じていない・あまり感じていない等と回答した人の割合を算出して記載。

年齢						居住地域				
20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～	丹後	中丹	南丹	京都市	山城
99	98	98	94	95	92	95	94	97	95	96
90	86	86	80	82	79	79	78	84	83	85
75	75	84	79	83	81	81	78	84	77	84
67	63	70	64	58	66	64	66	55	65	65
99	94	90	79	85	87	87	94	81	88	87
24	53	62	51	46	41	48	54	51	44	47
41	44	42	49	50	47	40	57	47	46	43
77	72	81	73	88	94	78	74	80	81	80
66	65	61	73	82	81	67	73	74	71	76
75	61	68	68	71	70	44	41	45	79	63
47	52	55	53	70	78	55	59	48	62	62
13	19	20	22	17	24	21	23	25	19	19
—	—	—	—	65歳以上	64	50	71	62	60	71
82	53	62	42	35	41	29	35	45	50	49
63	55	59	61	68	67	64	66	57	67	56
65	60	64	61	67	73	71	68	64	65	66
10	16	24	27	30	35	33	34	27	24	20
18	22	26	30	37	36	35	39	22	29	26
34	54	55	56	64	75	74	59	65	58	54
72	62	67	61	72	80	67	66	66	68	75
50	56	68	55	68	72	52	51	56	62	68
4	13	25	28	40	38	27	40	31	26	20
3	9	8	12	19	20	23	21	14	11	11
85	88	89	86	95	92	94	93	92	89	89
86	76	70	72	77	78	76	81	78	76	75
32	48	47	46	53	67	66	52	52	49	49
48	52	61	55	58	72	64	62	64	58	56
92	68	68	73	77	73	71	71	71	74	74
82	73	77	76	73	79	43	57	62	85	73
65	57	66	52	52	45	45	46	55	59	52
88	85	87	83	87	89	86	85	90	84	91
57	64	63	68	75	78	67	67	65	68	70
46	43	33	37	39	44	12	21	19	50	35
88	88	83	83	81	88	69	79	83	87	87
38	45	46	38	43	43	53	54	48	40	41
6	9	4	6	12	14	11	10	8	9	9
74	63	60	49	58	75	40	61	66	62	71
18	14	16	16	11	8	4	10	13	15	12
76	63	64	57	49	42	45	57	51	59	58
88	90	86	91	94	95	93	88	91	91	92

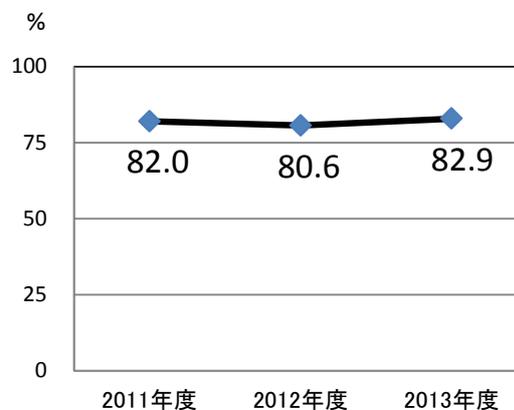
府民意識調査結果

「明日の京都」で目指す社会の状況により近い選択肢
 (「そう思う」及び「どちらかというと思う」など)と回答した人の合計の推移

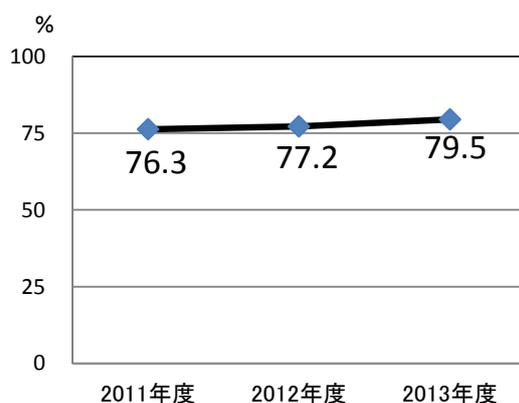
問1 あなたは、子育てに喜びややりがいを感じていますか



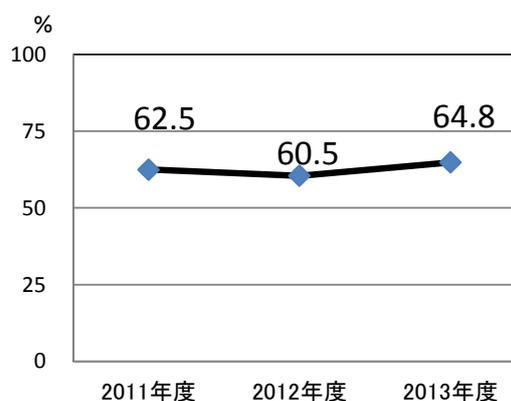
問2 あなたには、子育ての悩みを気軽に相談できる人がいますか



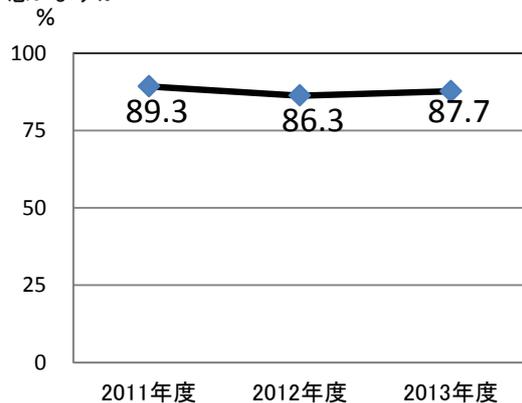
問3 あなたがお住まいの地域は、子どもが育つのに良い環境だと思いますか



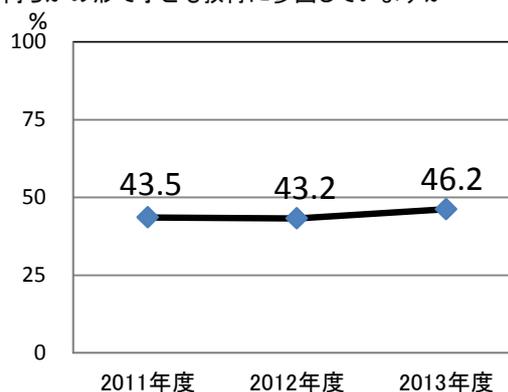
問4 あなたがお勤めの職場では、子育てに対する理解や支援が十分であると思いますか



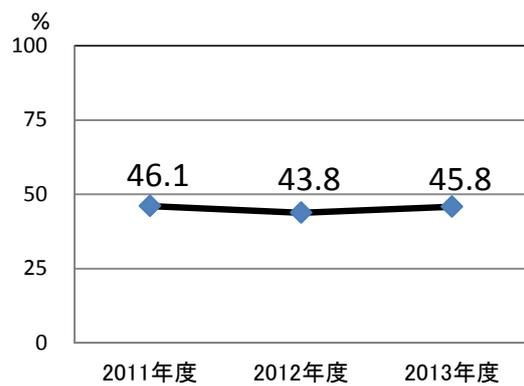
問5 あなたのお子さんは、学校に行くことやそこで学ぶことに楽しさややりがいを感じていると思いますか



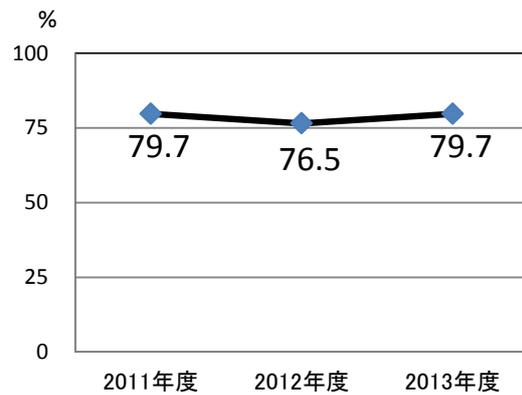
問6 あなたは、お子さんの有無にかかわらず、学校行事や子どもの社会体験活動への協力など、何らかの形で子ども教育に参画していますか



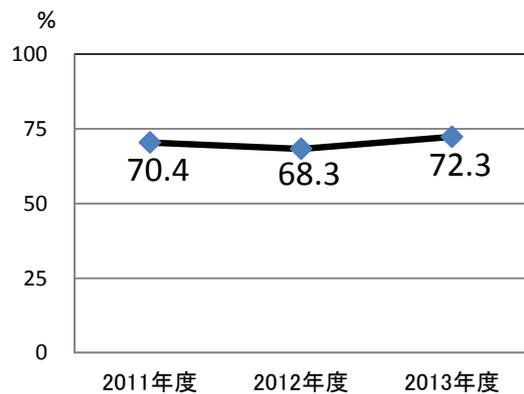
問7 あなたは、キャリアアップや趣味・娯楽、地域貢献活動やボランティア活動などを目的とした生涯学習に取り組んでいますか



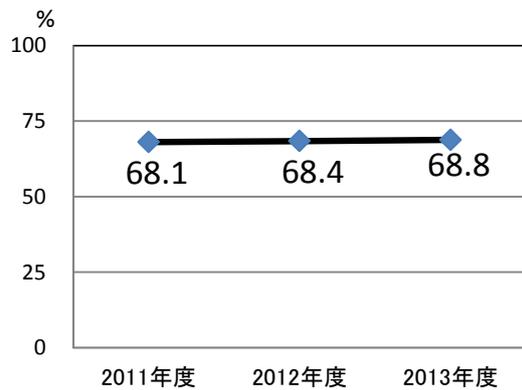
問8 あなたは、仕事にやりがいや生きがいを感じていますか



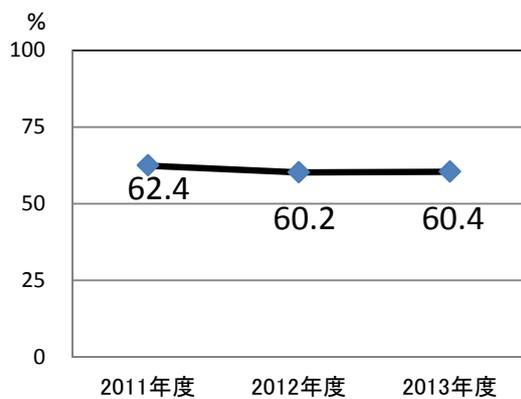
問9 あなたは、規則正しい食事や運動など、健康づくりに取り組んでいますか



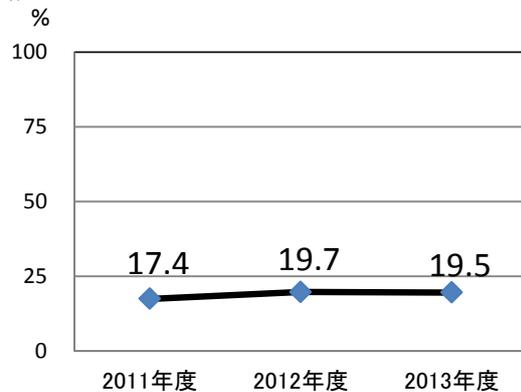
問10 あなたがお住まいの地域には、最寄りの診療機関またはかかりつけ医へ行くための交通手段(電車、バス等)が十分に整っていると思いますか



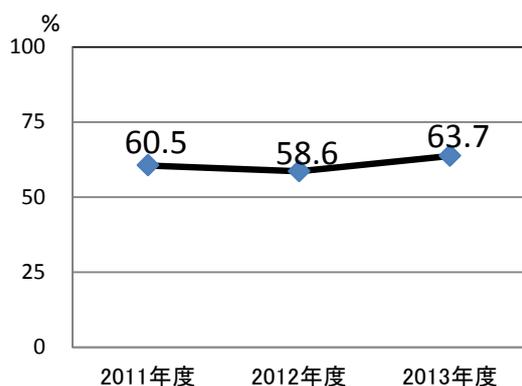
問11 あなたには、病気やけがで困ったときに気軽に相談できるかかりつけ医がいますか



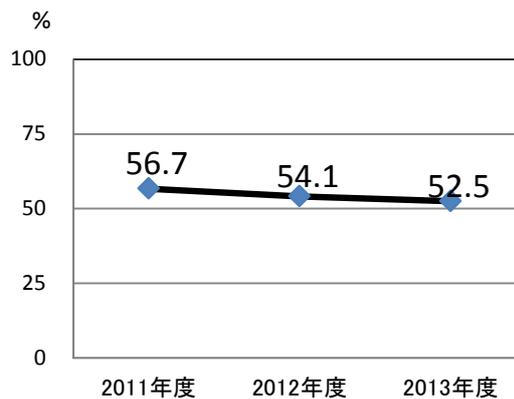
問12 あなたには、障害のある人と交流したり、障害のある人を支援する活動などに参加したりしていますか



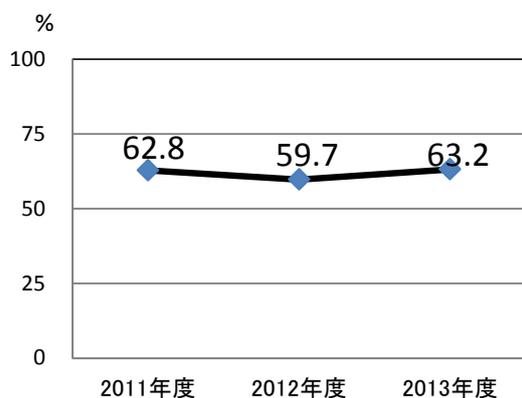
問13 あなたには、趣味や地域貢献活動など、やりがいや生きがいを感じるものがありますか
(65歳以上の方の割合)



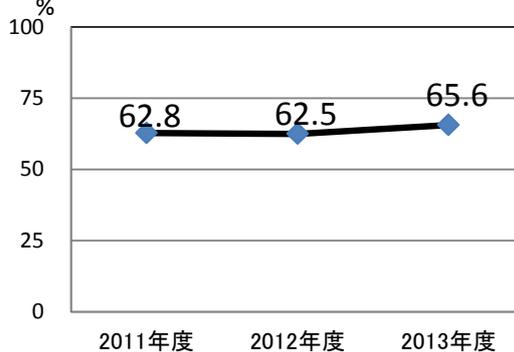
問14 あなたは、家族の介護に負担や苦痛を感じていますか



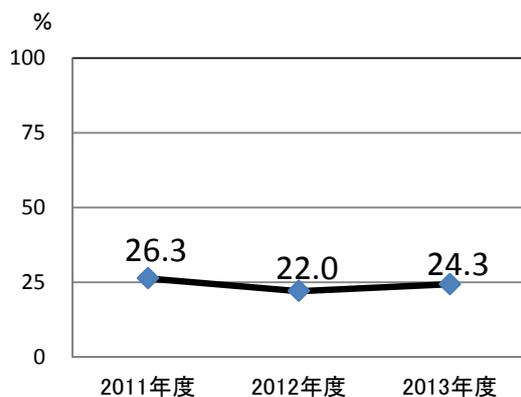
問15 あなたには、家族介護の悩みを気軽に相談できる人がいますか



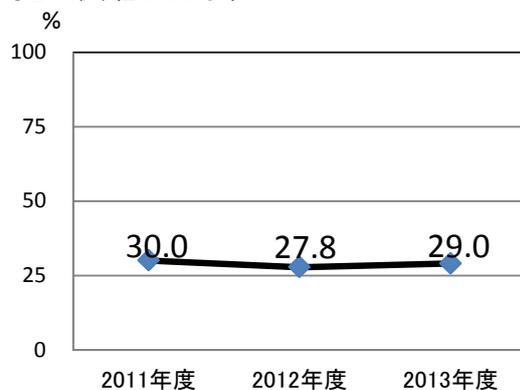
問16 あなたがお住まいの地域には、デイサービスやショートステイなどの老人福祉施設、介護ボランティアやNPOなど、地域全体で高齢者を支える体制が十分に整っていると思いますか



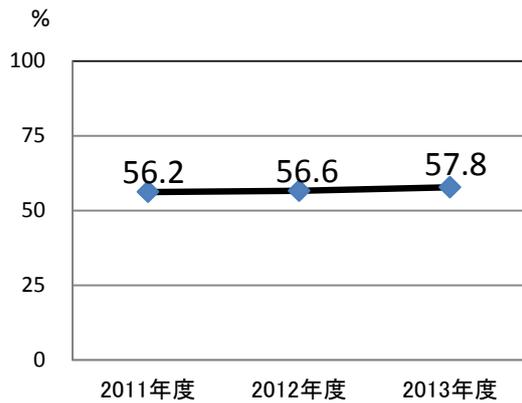
問17 あなたは、地域の防犯または防災活動に取り組んでいますか



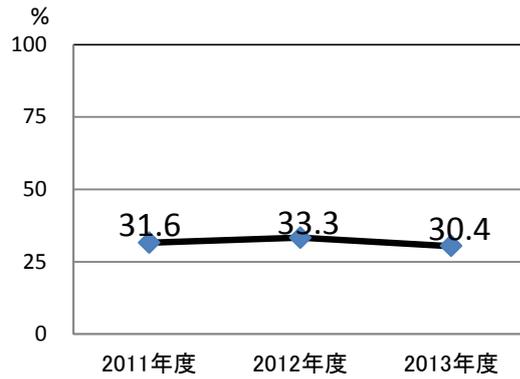
問18 あなたは、地震などの災害に備えて、避難場所や経路の確認をはじめとする避難準備や物資の備蓄などに取り組んでいますか



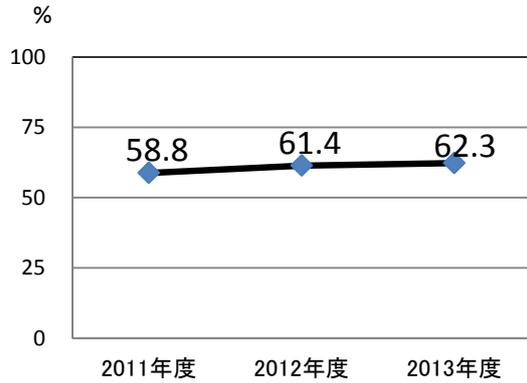
問19 あなたは、食料を購入する際、地元産であることを意識して選んでいますか



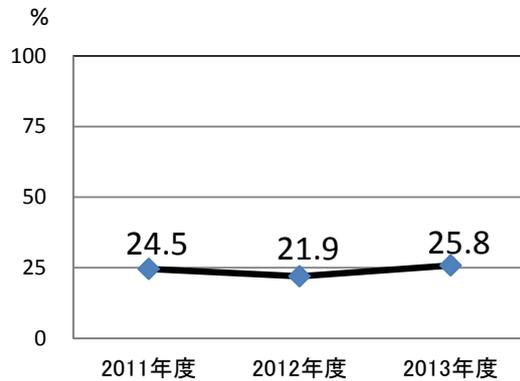
問20 あなたは、日々の生活の中で、性別や身体の状態などによる差別、虐待や誹謗中傷などの人権侵害があると感じますか



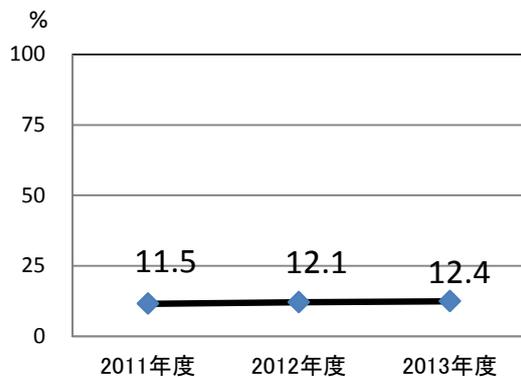
問21 あなたがお住まいの地域は、高齢者や障害のある人をはじめ、子ども、成人、妊婦、外国人などすべての人にとって暮らしやすい地域だと思いますか



問22 あなたは、様々な地域課題に対応する自治会やNPOの活動などに参画していますか



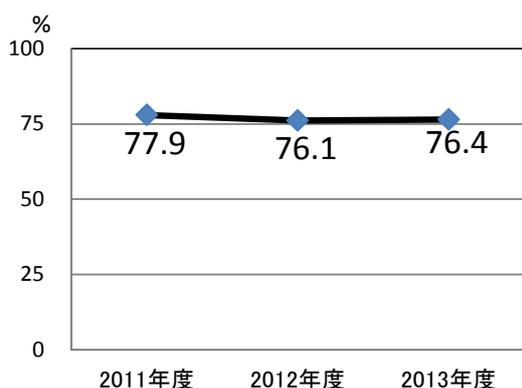
問23 あなたは、府や市町村の実施する府民協働の取組に何らかの形で参画していますか



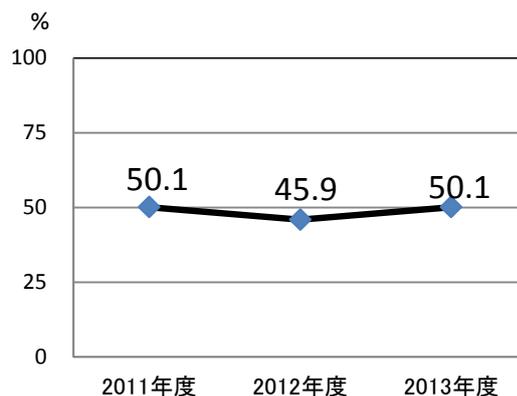
問24 あなたは、どのくらいの頻度で同居する家族と夕食を共にしていますか



問25 あなたには、身の回りに親しい友人・仲間がいるか、または、定期的に顔を出す場所がありますか



問26 あなたには、困ったときに気軽に頼れる近所さんがいますか



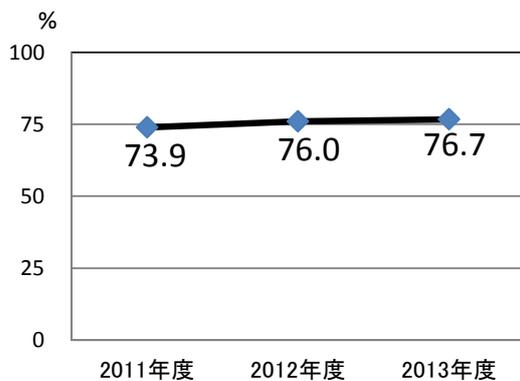
問27 あなたがお住まいの地域では、自治会活動などのコミュニティ活動が活発に行われていると思いますか



問28 あなたの配偶者は、家事を十分に分担していると思いますか



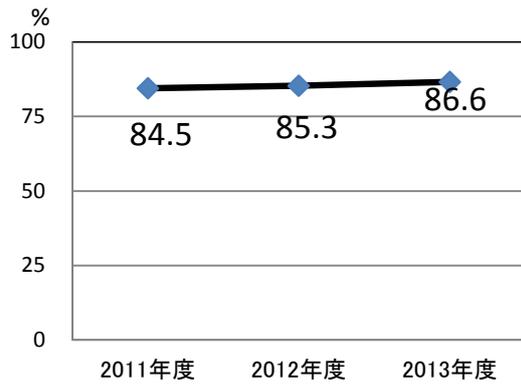
問29 あなたがお住まいの地域では、就業、交通、情報通信、医療、教育、上下水道などの定住に必要な基盤が十分に整っていると思いますか



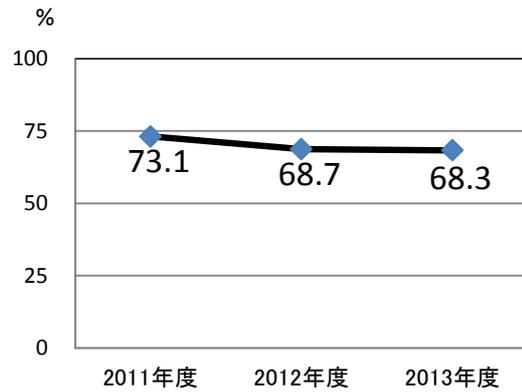
問30 あなたは、仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思いますか



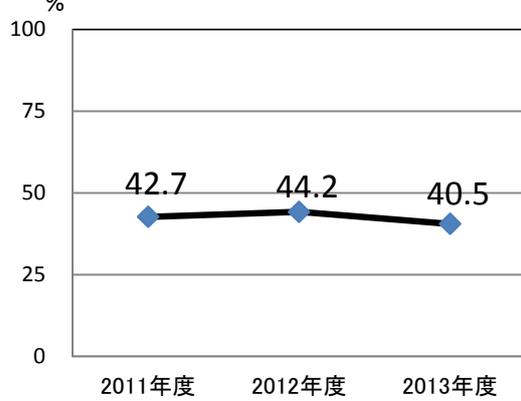
問31 あなたは、京都府が優れたまち並みや景観、自然環境に恵まれていると思いますか



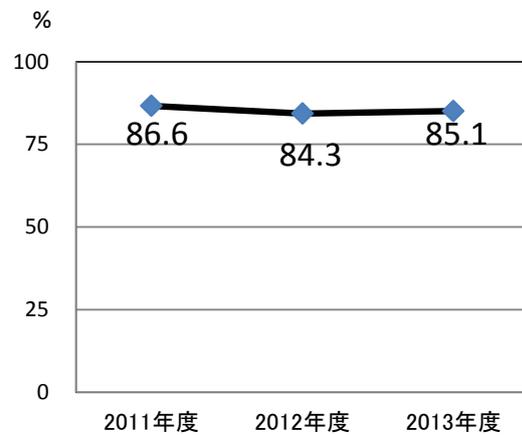
問32 あなたは、節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践していますか



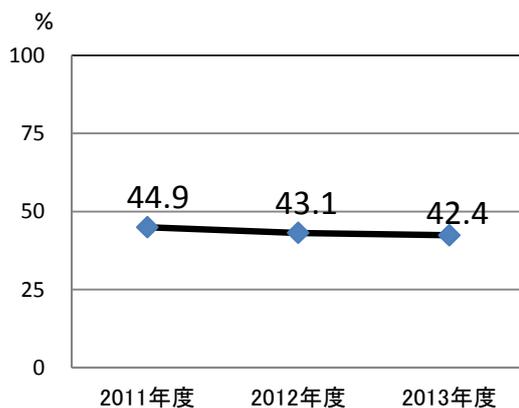
問33 あなたがお住まいの地域では、博物館や美術館、劇場や文化ホールなど、美術や音楽、演劇といった芸術文化活動を行うための場、あるいはそれらを鑑賞するための場が十分に整っていると思いますか



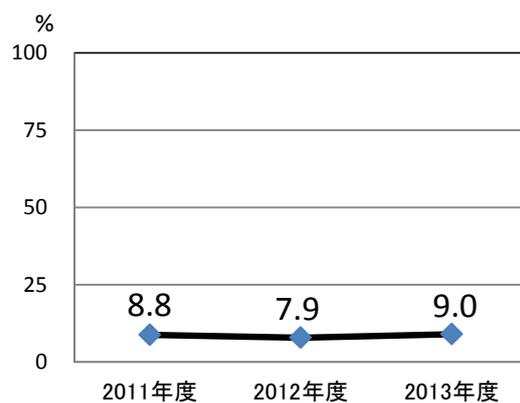
問34 あなたは、京都府では歴史的な文化遺産や文化財等が社会全体で守られ、引き継がれていると思いますか



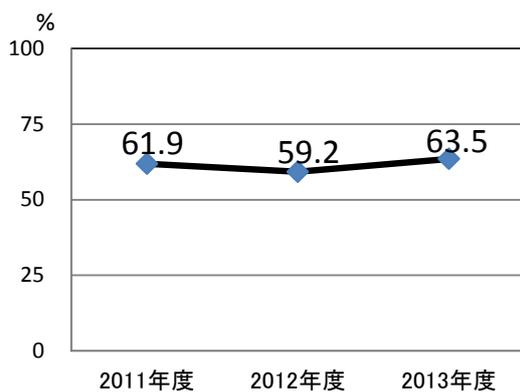
問35 あなたは、地域の祭りや伝統行事に参画していますか



問36 あなたは、着物を着用していますか



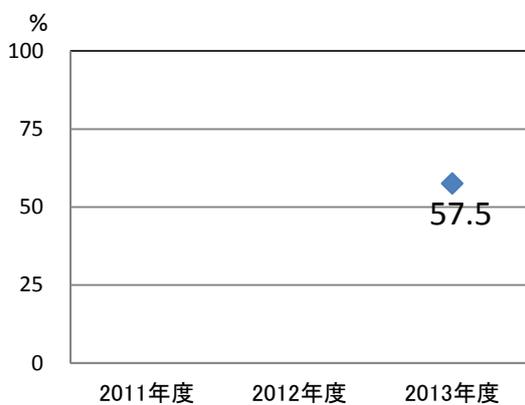
問37 あなたは、京都府では西陣織や丹後ちりめん、京焼・清水焼をはじめとする伝統産業が社会全体で守られ、引き継がれていると思いますか



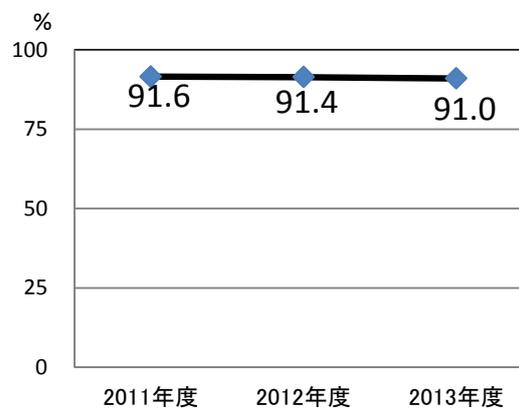
問38 あなたには、海外に住む友人(海外在住の日本人を含む。)または国内に住む外国人の友人がいますか



問39 あなたには、将来叶えたい夢や実現したい目標がありますか

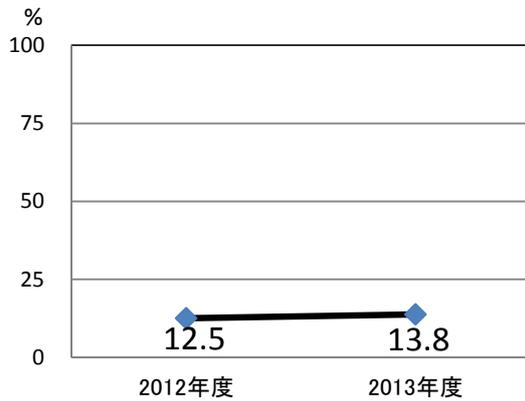


問40 あなたは、これからも京都府に住み続けたいと思いますか

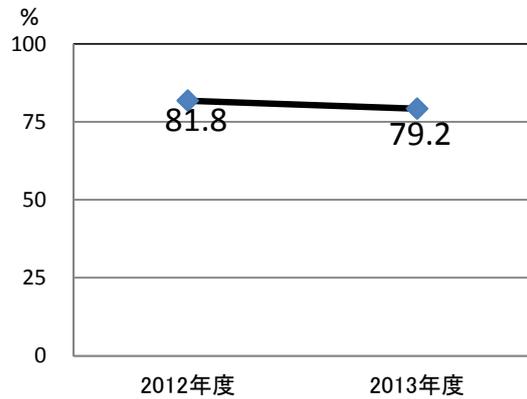


【関連項目】

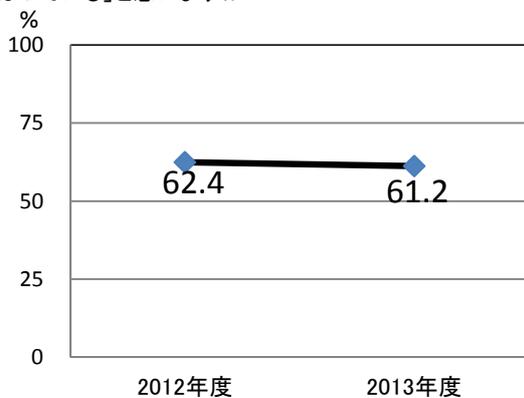
問 あなたは、「だれもがしあわせを実感できる社会」づくりをめざす京都府の府政運営の指針である『明日の京都』をご存知ですか



問 あなたは、京都府がこのような府民の意識調査などによる指標(京都指標)を作成し、府政運営の羅針盤としていることについて、どう思いますか



問 あなたは、京都府が、府民のしあわせのために、「積極的に取り組んでいる」「がんばっている」と思いますか

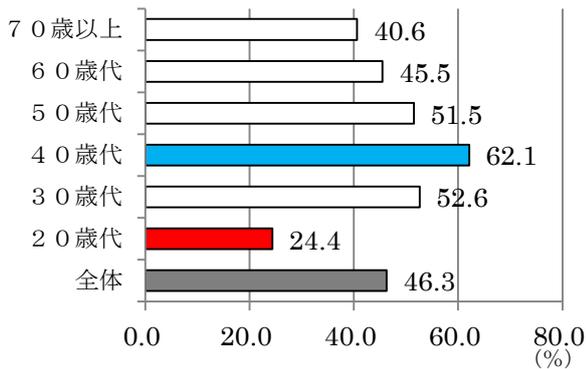


属性別集計値に大きな差が認められたもの

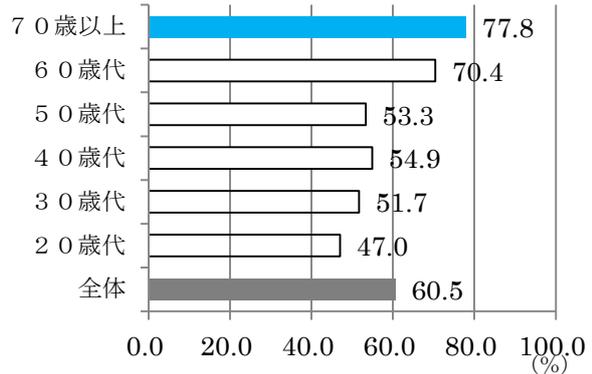
- 年齢・地域別集計値のうち、全体集計値から15ポイント以上高い（低い）ものを掲載
- 性別集計値のうち、異性との差が15ポイント以上高い（低い）ものを掲載

<年齢別>

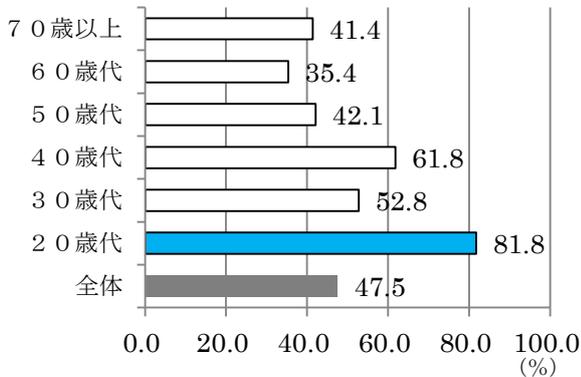
子どもの有無に関わらず、何らかの形で子どもの教育に参画している人の割合



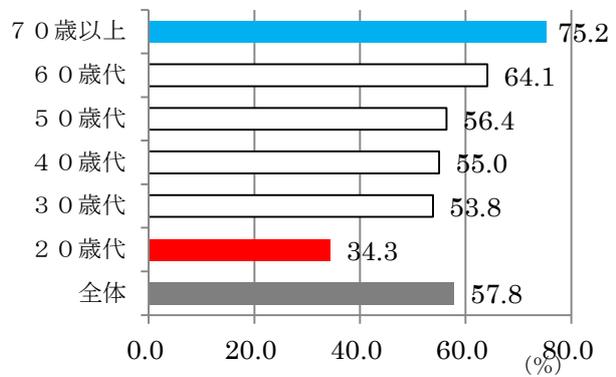
病気やけがで困ったときに気軽に相談できるかかりつけ医がいる人の割合



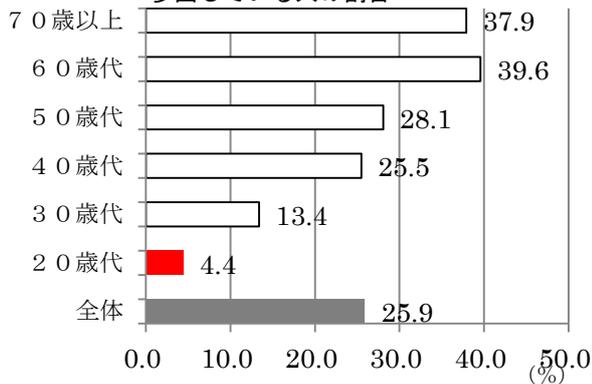
家族の介護に負担や苦痛を感じていない家族介護者の割合



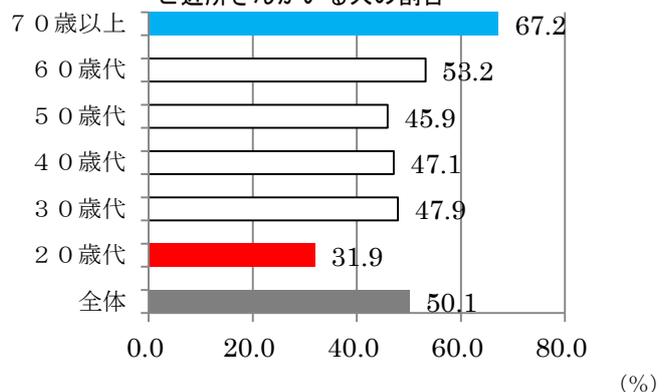
食料を購入する際、地元産であることを意識して選んでいる人の割合

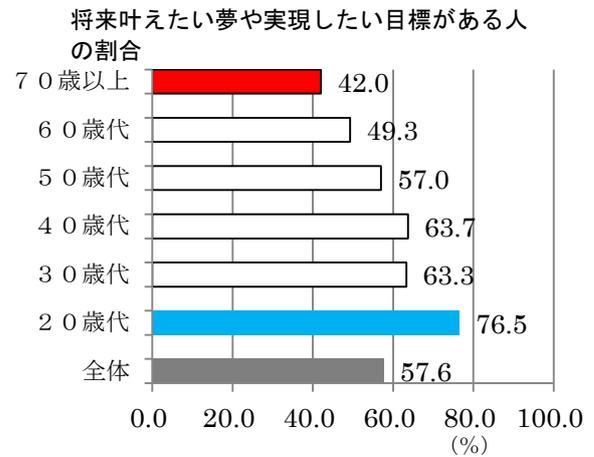
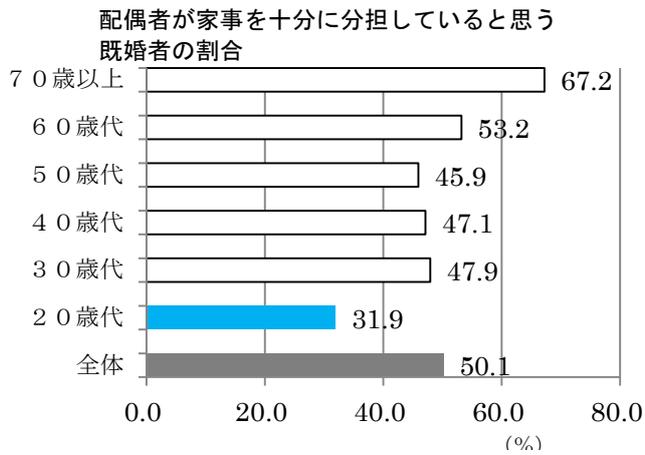


自治会やNPOの活動などに参画している人の割合

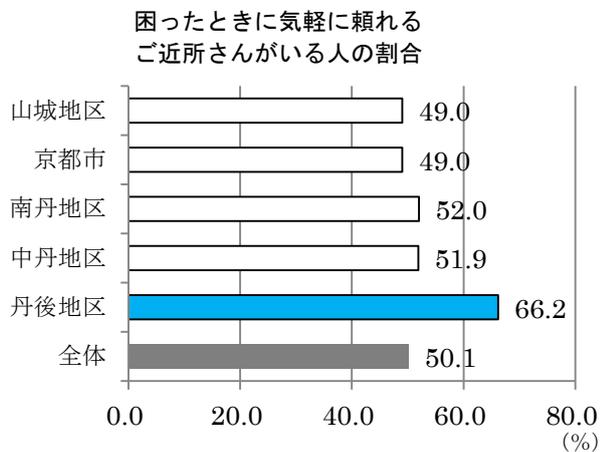
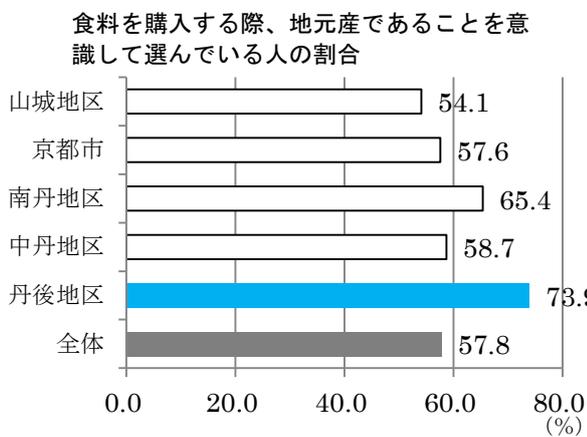
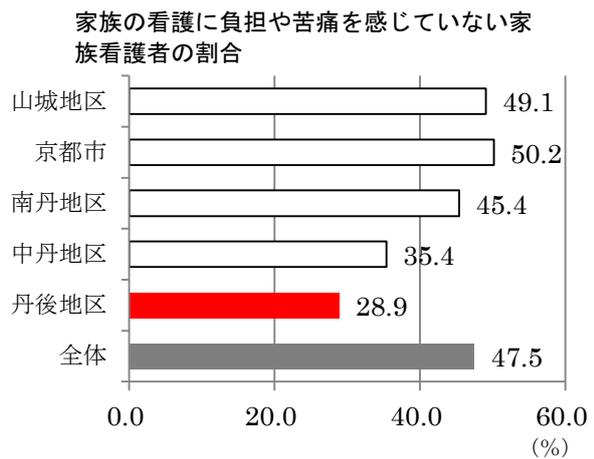
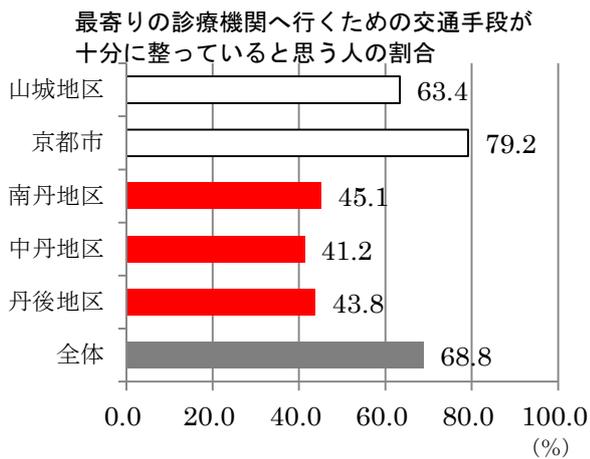


困ったときに気軽に頼れるご近所さんがいる人の割合

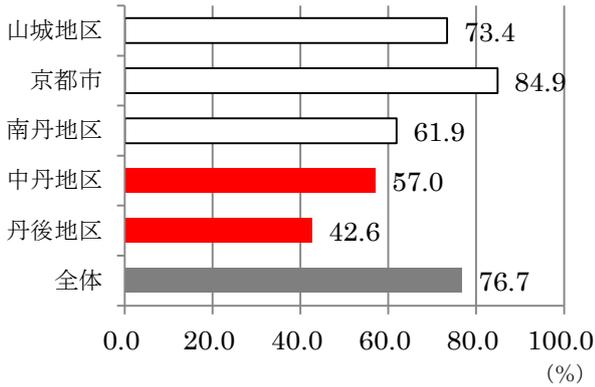




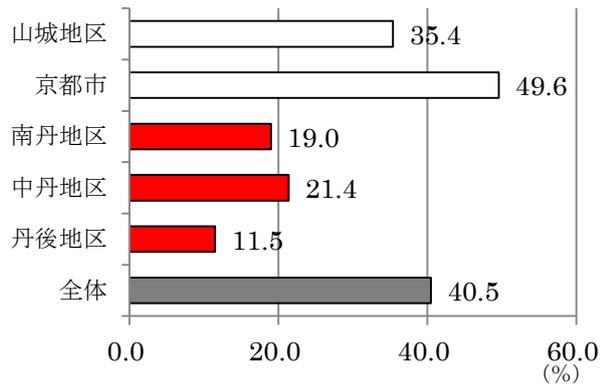
<地域別>



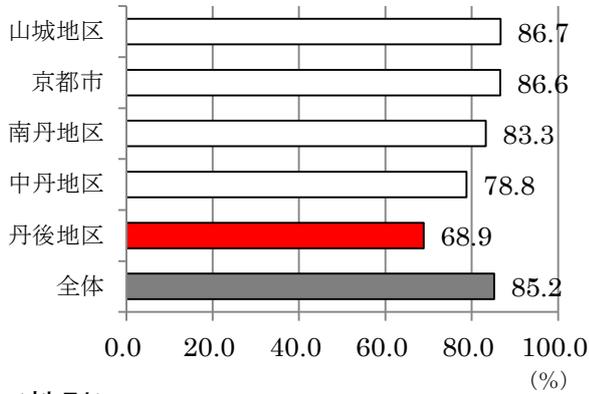
上下水道などの定住に必要な基盤が十分に整っていると思う人の割合



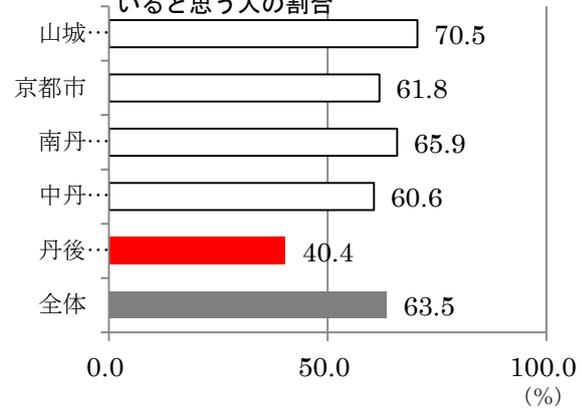
居住地で、芸術文化の活動及び鑑賞するための場が十分に整っていると思う人の割合



歴史的な文化遺産や文化財等が社会全体で守られ、引き継がれていると思う人の割合

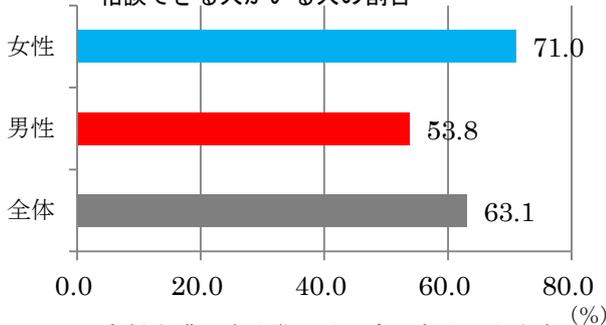


伝統産業が社会全体で守られ、引き継がれていると思う人の割合

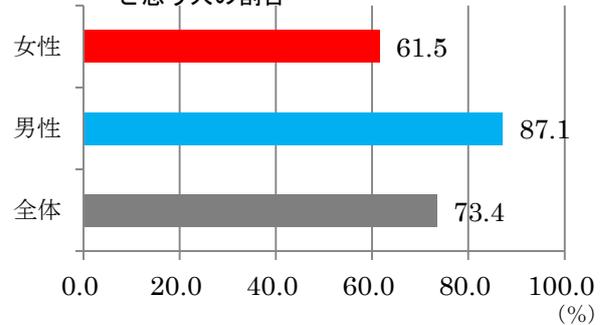


<性別>

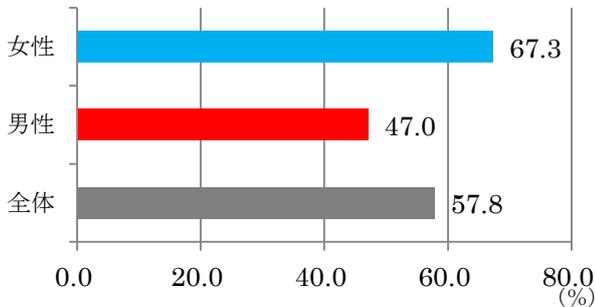
家族介護の悩みを気軽に相談できる人がいる人の割合



配偶者が家事を十分に分担していると思う人の割合



食料を購入する際、地元産であることを意識して選んでいる人の割合



「府民意識調査」の概要

[2011 年度調査概要]

- 1 調査対象
 - ・ 京都府内在住の満 20 歳以上の府民 3,000 人
- 2 調査方法
 - ・ 郵送による無記名アンケート形式（謝礼、督促状等なし）
- 3 調査時期
 - ・ 2012 年 1 月
- 4 回収状況
 - ・ 回収数：1,293 通
 - ・ 回収率：43.7%（あて先不明等による送達不能 48 通を除く）

[2012 年度調査概要]

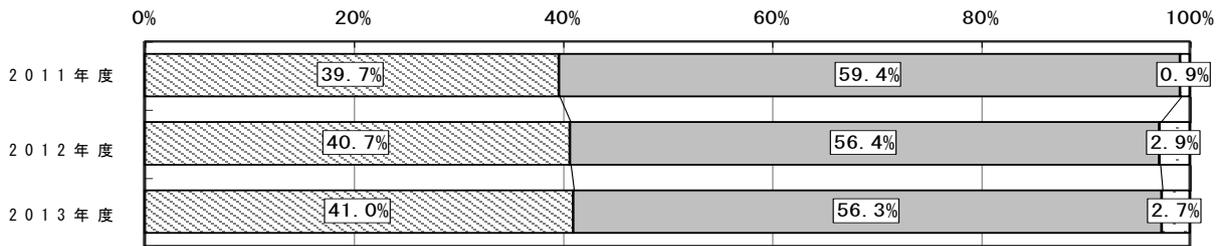
- 1 調査対象
 - ・ 京都府内在住の満 20 歳以上の府民 4,100 人
 - ・ 3,000 人を全市町村に人口で比例配分した上で、亀岡市以北の市町に 1,100 人を追加配分し、無作為抽出（配分に当たっては、性別・年齢階層を考慮）
- 2 調査方法
 - ・ 郵送による無記名アンケート形式（謝礼、督促状等なし）
- 3 調査時期
 - ・ 2013 年 1 月
- 4 回収状況
 - ・ 回収数：1,800 通
 - ・ 回収率：44.4%（あて先不明等による送達不能 48 通を除く）

[平成 25 年度調査概要]

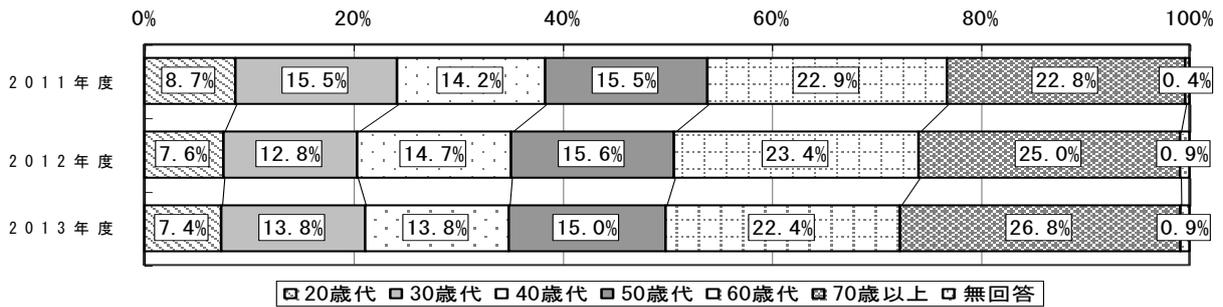
- 1 調査対象
 - ・ 京都府内在住の満 20 歳以上の府民 4,100 人
 - ・ 3,000 人を全市町村に人口で比例配分した上で、亀岡市以北の市町に 1,100 人を追加配分し、無作為抽出（配分に当たっては、性別・年齢階層を考慮）
- 2 調査方法
 - ・ 郵送による無記名アンケート形式（謝礼、督促状等なし）
- 3 調査時期
 - ・ 2013 年 6 月
- 4 回収状況
 - ・ 回収数：1,636 通
 - ・ 回収率：40.3%（あて先不明等による送達不能 43 通を除く）

(1) 回答者の属性

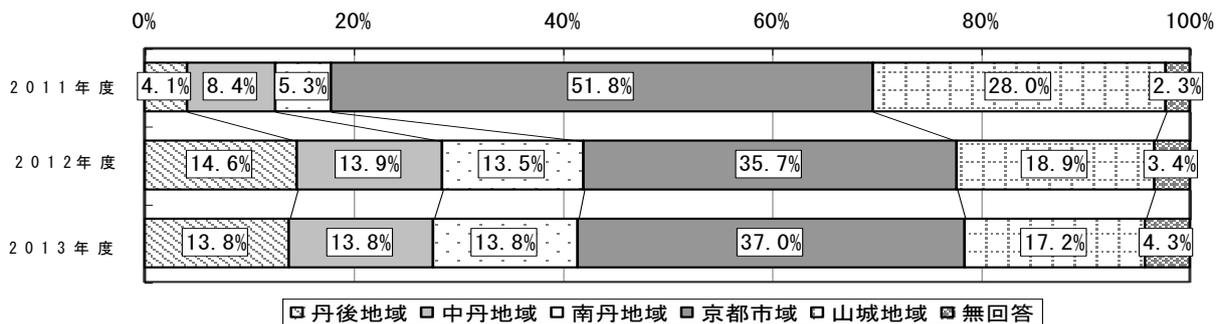
■性別



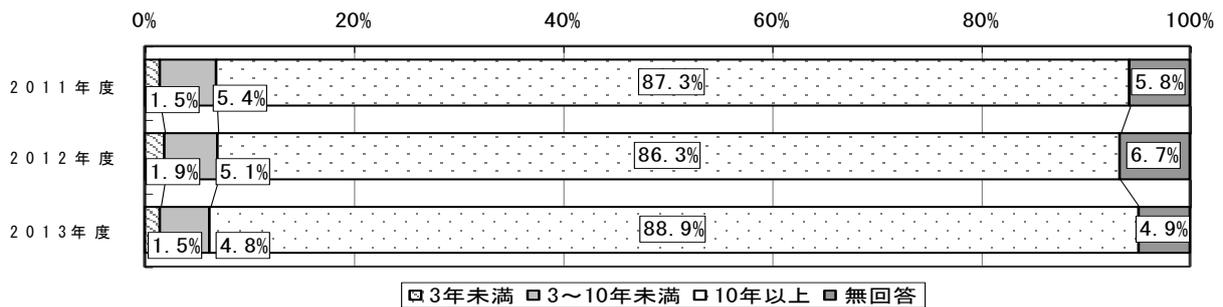
■年齢



■居住地



■府内居住年数



■職業

